

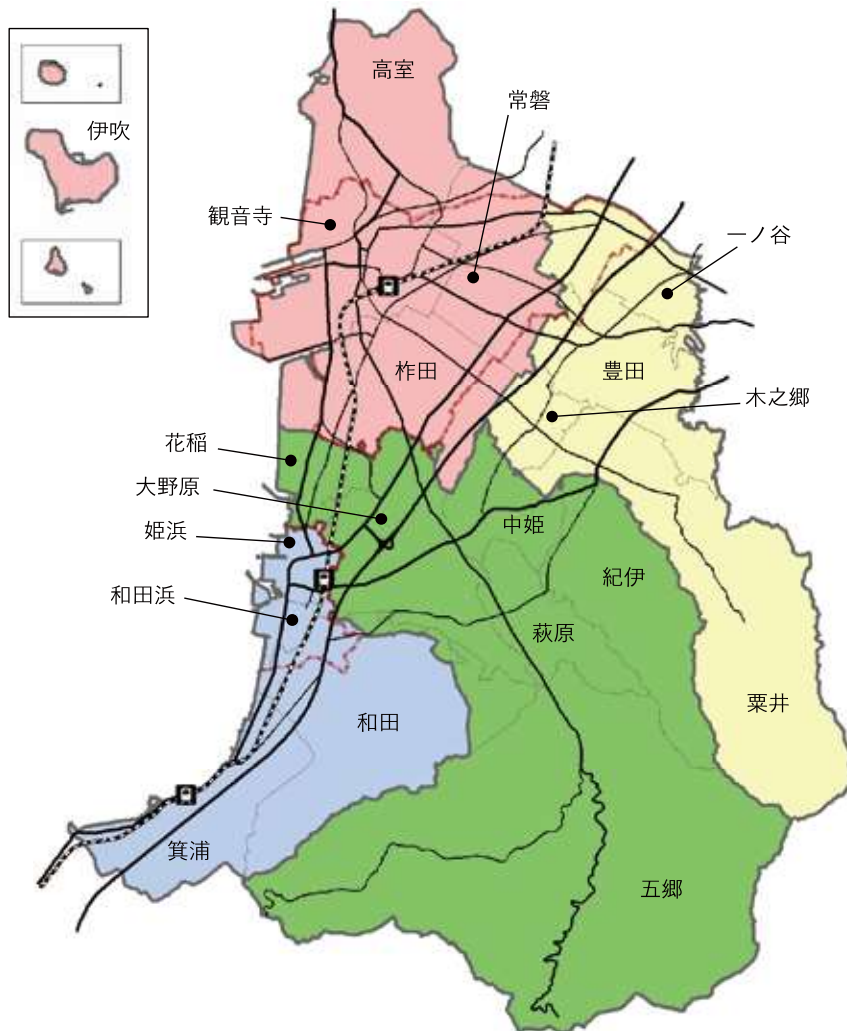
第5章 地域別構想

1. 地域区分の設定

1-1 地域区分の考え方

地域別構想は、全体構想におけるまちづくり方針を具体的に進めるため、それぞれの地域の特性や課題を踏まえ、部門別構想を総合的にまとめ、目指すべき地域の将来像の実現に向けたまちづくり方針を定めます。

地域の区分は、幹線道路や鉄道等の交通軸、地形条件、小中学校区等のコミュニティのつながり、土地利用及び都市形成の経緯等を踏まえ、本市を以下の4つの地域に区分します。



地域区分	コミュニティ
観音寺北部・島しょ部	高室、観音寺、伊吹、常磐、柞田
観音寺東部	一ノ谷、豊田、木之郷、栗井
観音寺西部	姫浜、和田浜、和田、箕浦
観音寺中南部	花稲、大野原、中姫、紀伊、萩原、五郷、和田浜の一部

1-2 地域の概況

	観音寺北部・島しょ部	観音寺東部	観音寺西部	観音寺中南部
面積	2,526ha(22%)	2,364ha(20%)	1,614ha(13%)	5,216ha(45%)
地形条件	・平地 ・臨海部(観音寺港、室本港、伊吹漁港) ・有明浜 ・財田川 ・稲積山	・平地 ・柞田川 ・一ノ谷池 ・栗井ダム	・平地 ・臨海部(豊浜港、箕浦漁港) ・一の宮海岸 ・白坂川、吉田川、四方堂川	・平地 ・臨海部(花稻漁港) ・柞田川 ・豊稔池、大谷池、井関池 ・五郷ダム ・雲辺寺山
現況土地利用	農地 : 864ha 森林 : 333ha 宅地 : 538ha その他 : 791ha	農地 : 674ha 森林 : 941ha 宅地 : 257ha その他 : 492ha	農地 : 448ha 森林 : 697ha 宅地 : 153ha その他 : 316ha	農地 : 1,390ha 森林 : 2,744ha 宅地 : 312ha その他 : 770ha
土地利用制限	観音寺都市計画区域(観音寺、常磐の一部、柞田の一部)	観音寺都市計画区域(一ノ谷の一部、豊田の一部)	豊浜都市計画区域(姫浜の一部、和田浜の一部、和田の一部)	都市計画区域外
交通条件	・JR予讃線 ・国道11号 ・主要地方道丸亀詫間豊浜線	・国道11号 ・国道377号 ・高松自動車道	・JR予讃線 ・国道11号 ・国道377号	・国道11号 ・国道377号
コミュニティ	高室、観音寺、伊吹、常磐、柞田	一ノ谷、豊田、木之郷、栗井	姫浜、和田浜、和田、箕浦	花稻、大野原、中姫、萩原、紀伊、五郷
土地利用方針	住宅地区 商業・業務地区 産業・流通業務地区 集落地区 環境保全・観光地区	集落地区 農業保全地区 自然保全・観光地区	住宅地区 商業・業務地区 集落地区 産業・流通業務地区 農業保全地区 自然保全・観光地区	住宅地区 商業・業務地区 集落地区 産業・流通業務地区 集落地区 自然保全・観光地区
地域の概況	市役所、市民会館、学校、図書館等さまざまな都市機能が集積し、観音寺駅を中心とした中心市街地とその周辺において市街地が形成されている。	一ノ谷・豊田・木之郷の北西部において宅地化が進んでいる。	国道11号沿道に市街地が形成されている。	国道377号沿道に集落が形成されている。周辺は農地が広がり、農業が盛んな地域である。
人口	29,685人(50%)	10,623人(18%)	7,440人(12%)	11,661人(20%)
世帯数	11,416世帯(52%)	3,975世帯(18%)	2,742世帯(12%)	3,851世帯(18%)

※人口・世帯数は、平成27年国勢調査をもとに地域ごとに集計したものである。

※面積(ha)は、平成27年国勢調査小地域の図上計測より算出したため、実際とは異なる場合がある。

2. 観音寺北部・島しょ部地域

2-1 地域の概要

本地域は、北に七宝山などの丘陵地が連なり、西は瀬戸内海(燧灘)に面し、沖合には伊吹島などの島しょを有しています。東部から西部に向かって財田川、柞田川、一の谷川などの河川が流れ、その河口部に市街地が形成されている地域です。

市街地には、市役所や各種行政機関をはじめ、学校等の教育施設、図書館、市民会館などの都市機能が集積し、JR観音寺駅周辺や幹線道路沿いにスーパーマーケットや病院・クリニックなどの生活利便施設が立地している本市の中心的地域ですが、商店街の空洞化や空き地や空き家の増加などが進行しています。



また、国指定名勝琴弾公園や四国八十八箇所霊場神恵院・観音寺など自然や歴史的な資源のほか、市指定天然記念物の海浜植物群落や有明浜など優れた自然を有する都市景観を形成しています。

本地域の人口は、平成12(2000)年の32,125人から平成27(2015)年の29,685人と15年間で7.6%減少し、長期的に減少傾向が続いています。

世帯数は、平成12年の10,875世帯から平成22(2010)年の11,474世帯と増加していましたが、平成27年に減少に転じ11,416世帯となっています。



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計(平成30年度)

2-2 現況と課題

(1) 土地利用

■ 現況

- ◇ JR観音寺駅を中心に住宅地や商業地が集積し、臨海部には工業用地が集積しています。また、国道11号などの幹線道路沿線を中心に郊外部の宅地化が進み、市街地の拡散によって中心部の空き家・空き店舗が増加しています。
- ◇ 伊吹島は島の中央部に住宅地が集積し、既存集落を形成しています。

■ 課題

- ◇ JR観音寺駅周辺の中心市街地では、都市機能の集積によるにぎわいの創出が必要です。

北部・島しょ地域の土地利用現況



(2) 交通体系

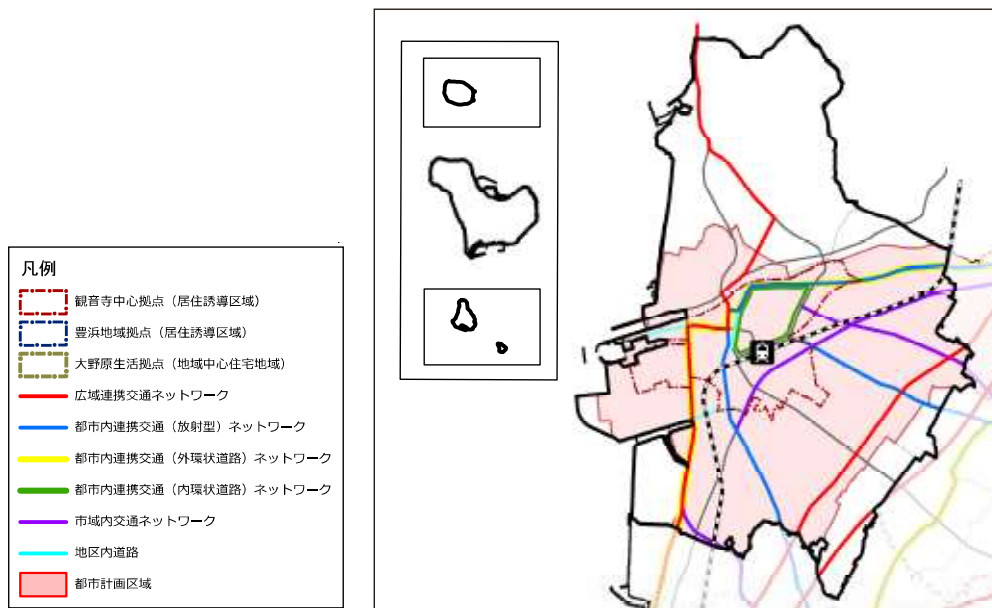
■ 現況

- ◇ 南北に、国道11号、主要地方道丸亀詫間豊浜線、県道観音寺佐野線、JR予讃線が走り、東西には、主要地方道観音寺池田線、主要地方道込野観音寺線が走っています。
- ◇ 本地域の都市計画道路は、市道区間の整備がおおむね完了し、未整備区間は国道11号や県道区間となっています。
- ◇ のりあいバス路線は、内循環線・外循環線・栗井姫浜線・五郷高室線・箕浦観音寺線・伊吹線の6路線が運行し、JR観音寺駅周辺は1日往復15便以上が運行する利便性の高い区間となっています。
- ◇ 本地域は、JR観音寺駅や観音寺港など地域間を連絡する広域交通拠点をもつとともに、国道11号などの主要な幹線道路が通過する交通の要衝となっています。

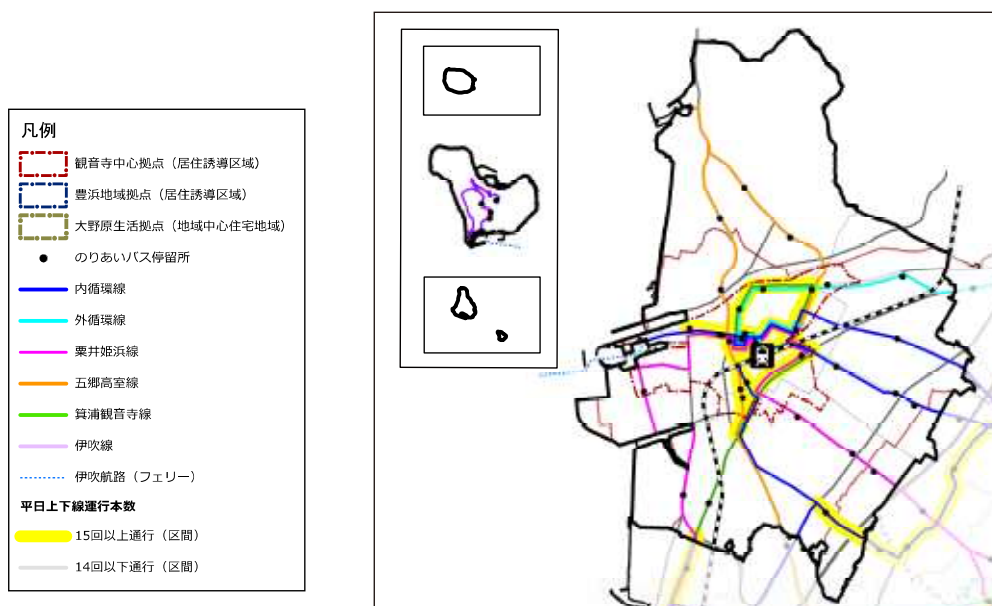
■ 課題

- ◇のりあいバス路線は、利便性の維持・向上を図り、利用を促進する必要があります。
- ◇本地域は交通の要衝であるため、周辺地域からのアクセス性の向上を図るとともに、交通渋滞の緩和による快適性の向上が必要です。

北部・島しょ部地域の交通ネットワーク



北部・島しょ部地域の公共交通網図



(3) 都市施設・都市機能

■ 現況

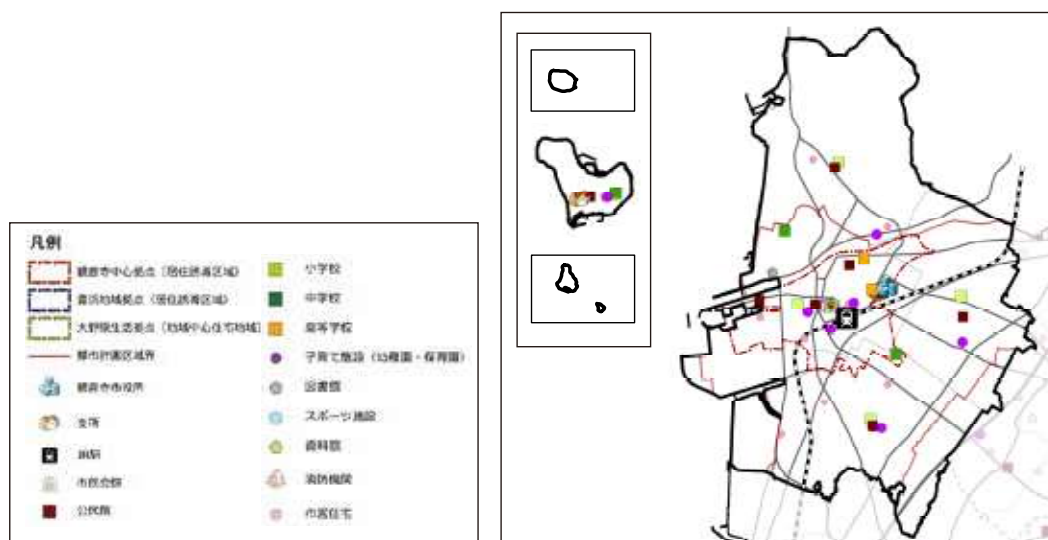
◇JR観音寺駅周辺に、市役所や各種行政機関、学校等の教育施設、市民会館や図書館等の文化機能が集積している地域です。

◇伊吹島は、既存集落中央部に行政機関や学校などの都市機能が集約しています。

■ 課題

◇中心市街地は、市役所や市民会館などの文化機能をはじめ多くの都市機能が立地していますが、今後の人口減少・少子高齢化を見据えて、さらに、コンパクトで持続可能なまちづくりを推進する必要があります。

北部・島しょ部地域の都市機能



(4) 防災

■ 現況

◇市街地周辺には、稻積山や財田川、一の谷川などが豊かな自然を形成していますが、その反面、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域なども存在しています。

◇高屋町には、土砂災害警戒区域/特別警戒区域があります。有明地区では、平成16(2004)年台風による浸水被害が発生しています。

◇南町周辺では、南海トラフ地震発生後から30分以内に浸水深が30cmに到達する区域があると予測されています。

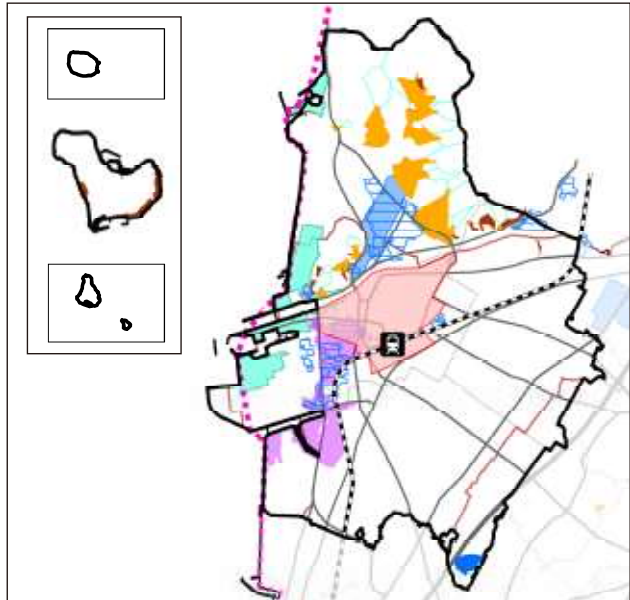
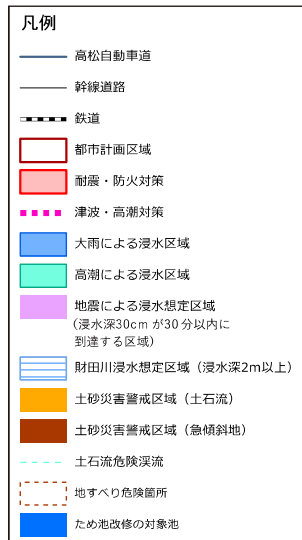
■ 課題

◇市街地周辺の土砂災害警戒区域/特別警戒区域などは適切な防災対策が必要です。

◇浸水被害を経験した地域や財田川洪水浸水想定区域では、避難体制の確立などソフト対策が必要です。

◇南海トラフ地震発生後から30分以内に浸水深が30cmに到達する区域については、河川堤防の耐震化等のハード対策を行うとともに、避難体制の確立などソフト対策が必要です。

北部・島しょ部地域のハザード区域



(5) 公園緑地

■ 現況

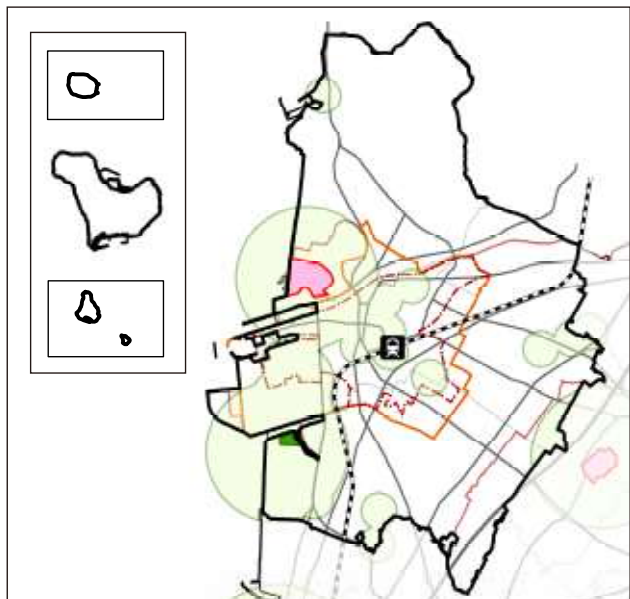
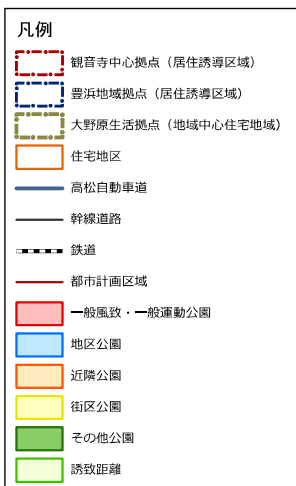
◇北部地域には公園緑地が29箇所あります。

◇国立公園に指定されている琴弾公園は、周辺に豊かな緑を形成し、身近な自然として住民に親しまれています。

■ 課題

◇琴弾公園については、住民の憩いの場として今後も良好な自然環境、自然景観の保全が必要です。

北部・島しょ部の公園緑地



(6) 都市景観

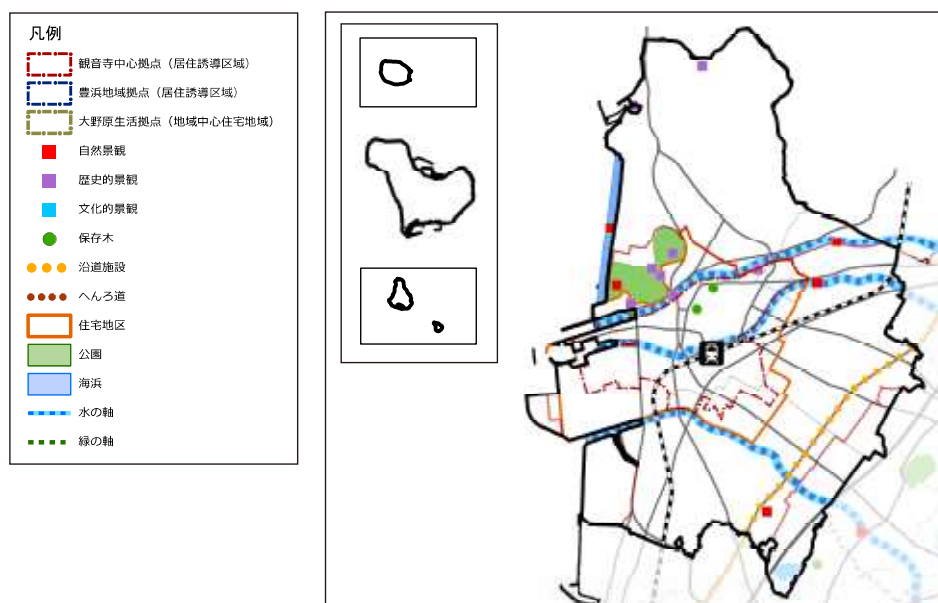
■ 現況

- ◇国指定名勝琴弾公園や四国八十八箇所霊場神恵院・観音寺、日本百名橋の三架橋など歴史・文化的な景観資源が存在しています。
- ◇有明浜は、日本の夕陽百選をはじめとした景観資源を有するほか、市指定天然記念物の海浜植物群落などの優れた自然環境を形成しています。

■ 課題

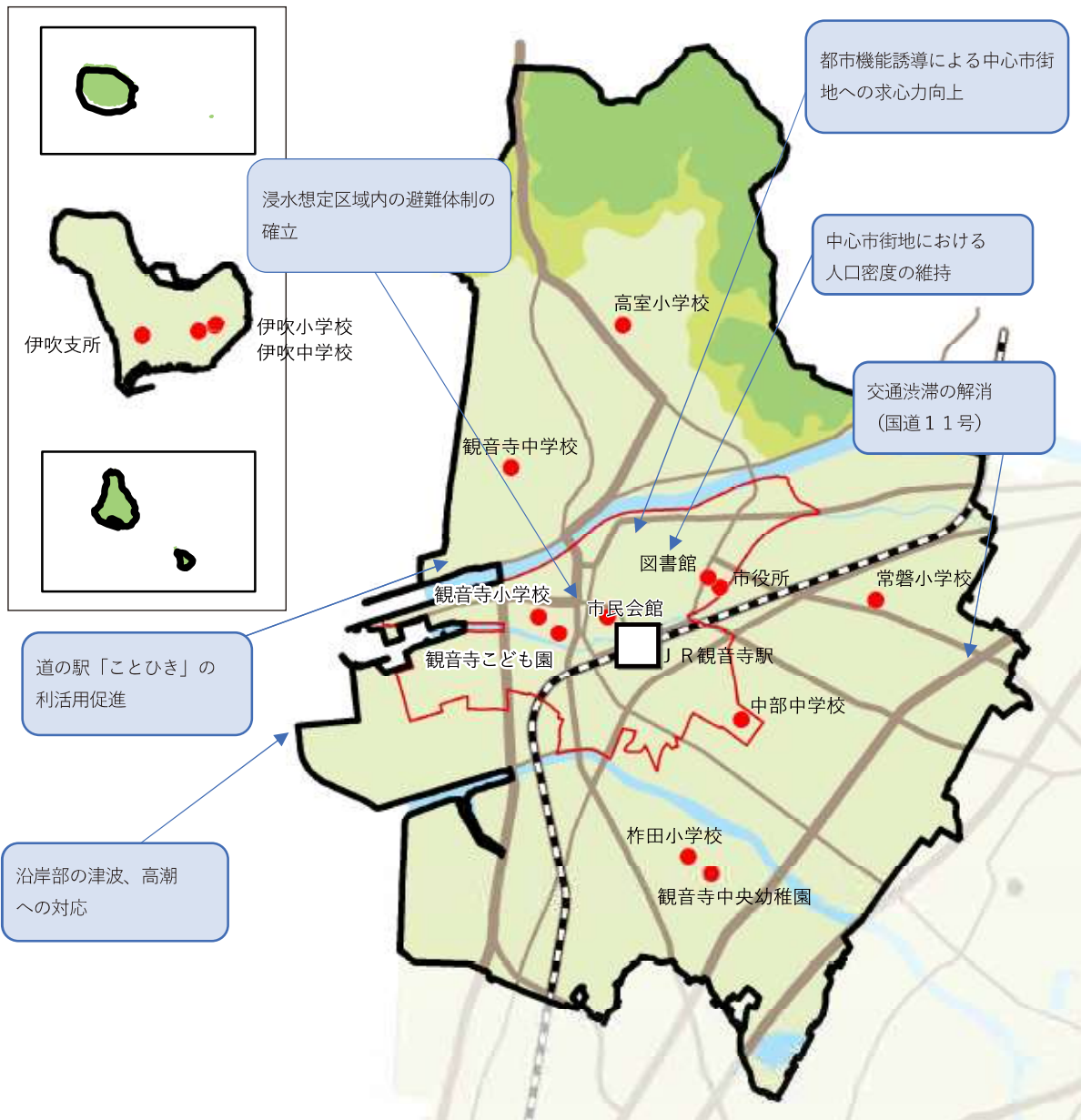
- ◇歴史・文化的な景観資源とまちなみの調和のとれた景観を保全する必要があります。
- ◇今後も自然環境を保全するとともに、自然資源を活かした交流の促進が必要です。

北部・島しょ部地域の都市景観



(7) 北部・島しょ部地域の主要な課題

- ・ 中心市街地における人口密度の維持
- ・ 国道11号における交通渋滞の解消
- ・ 都市機能誘導による中心市街地への求心力の向上
- ・ 沿岸部の津波、高潮への対応
- ・ 浸水想定区域内の避難体制の確立
- ・ 琴弾公園及び道の駅「ことひき」の利活用促進



2-3 北部・島しょ部地域のまちづくり構想

(1) 目指すべき将来像

多様な都市活動と優れた自然環境が調和した
魅力ある暮らしを育む

～活力と賑わいのある拠点性の高いまちづくり～

将来像を実現するための重点目標として、下記の目標を定めます。

① 都市機能の集積した利便性の高いまちづくり

利便性が高く生活の質の高い都市生活を確保するとともに、まちの賑わいや交流を促進し、まちなかへの優先的な居住誘導と、市街地の空洞化を抑制するため、活力と魅力にあふれる中心拠点にふさわしい都市空間を創出します。

② 安心して暮らせる居住環境の向上

土砂災害や財田川における洪水浸水、南海トラフ地震による津波浸水など、予測されるさまざまな災害から住民の命と生活を守る災害に強いまちづくりを行うとともに、老朽危険空き家の除却支援による密集市街地における防災性向上、幹線道路の渋滞緩和や移動のための歩行空間整備により、安心・安全に暮らせる市街地をつくります。

③ うるおいのあるコミュニティ空間の形成

財田川や一の谷川沿いに広がる水辺空間を保全し、周辺住民の憩いの場とするため、交流空間づくりに努めます。



観音寺市役所



観音寺池田線



三架橋

(2)分野別方針と主要な施策

①土地利用

- 交通利便性の高い市街地にある空き地や空き家などの低・未利用地の有効活用を図るとともに、中心市街地に整備された質の高い都市基盤を活用し、コンパクトシティの形成を推進します。
- 空き地や空き家などの既存ストックの有効活用等によって快適な居住環境の形成を図ること等により、居住誘導区域への人口の誘導・集積を推進します。
- 利便性の高い都市生活を確保することによってまちの活力や賑わいを創出するため、都市機能誘導区域への都市機能等の集約を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
空き地や空き家など低・未利用地の有効活用	→		

②交通体系

- 国道11号の交通混雑を解消するために拡幅整備の早期実現に向けて関係機関と調整を図ります。
- 過度な自家用車への依存を抑制し、歩いて暮らせる生活圏の形成に向け、車を利用しなくても拠点間の移動や公共公益サービスが享受できるよう「のりあいバス」の利便性向上と利用促進を図ります。
- 鉄道やのりあいバスなど公共交通の利用促進を図るとともに、新たなスマートインターチェンジなど交通結節機能への交通アクセス性の強化を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
国道11号の拡幅整備	→		
のりあいバスの利用促進	→		
交通結節機能（新スマートインターチェンジを含む）への交通アクセス性の強化	→		

③都市防災

- 住宅が密集し、道路幅員も狭い中心市街地では、老朽化の著しい危険な空き家の除却支援など防災性の向上に努めます。
- 津波・高潮対策として海岸堤防や防波堤の整備・改修や河川堤防の耐震化等を促進するとともに、各種ハザードマップの作成・配布、自主防災組織の育成支援や地域における情報伝達体制の整備など地域防災力の強化を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
老朽危険空き家の除却支援	→		
地震・津波対策海岸堤防等整備計画（香川県）	→		
各種ハザードマップの作成など地域防災力の強化	■	継続実施	■

④市街地整備

- 商業・業務機能をはじめ、医療・福祉・教育施設などの日常生活を支えるさまざまな都市機能を中心市街地に適切に配置することにより、多くの市民の生活利便性が高く生活の質が高い都市生活の確保を目指します。
- 文化・福祉・教育施設、官公署等が集積する中心市街地は、まちの賑わいや交流の促進を図るとともに、観音寺らしさを感じられる整備を行い、本市の中心拠点にふさわしい都市空間を創出します。
- まちなか居住を促進し、歩いて暮らせる生活圏の形成に向け、既成市街地に残されている大規模遊休地をリノベーションまちづくりにより有効活用し、交流促進と賑わい創出につなげ地域の価値と魅力向上を推進します。
- 高齢者も安心して生活できる快適な歩行空間を創出するため、歩道部の拡幅や段差のない歩道空間の整備、夜間でも安心して歩行できるよう街路灯の整備を推進します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
利便性の高い都市生活の確保	→		
中心拠点にふさわしい都市空間を創出	→		
遊休地のリノベーションによる有効活用	→		
歩道空間の整備	→		

⑤都市施設・都市機能

- 中心市街地の魅力向上を図るため、高次都市機能の集積及び強化を促進します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
商店街の活性化や魅力ある店舗の誘導	→		
空き家や空き店舗を活用した商業施設の誘導	→		

⑥公共施設

- 公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づき、拠点内での公共施設の立地を重視しつつ、施設の統廃合・再配置を進めるとともに施設の適切な維持管理に努めます。
- 市民会館(ハイスタッフホール)は、まちなかの交流・賑わい増進施設として、利用促進やイベントの開催など適切な運営・管理に努めます。

⑦水と緑の景観・都市景観

- 財田川沿いには自転車道(県道270号丸亀琴平観音寺自転車道線)があり、水辺空間と併せた緑の空間としての整備を促進します。
- まちなかの貴重な潤い空間である一の谷川は、河道整備により水辺空間を形成するとともに河川の水質向上を促進し、歩行空間としての沿道整備を検討し、まちなかにおける親水空間を創出します。
- 今後、新たに整備する道路等については緑化空間の確保に努めます。
- 四国八十八景の1つであり、本市の市街地と美しい瀬戸内海が一望できる稲積山山頂へのアクセス道路の整備などを図ります。
- 中心市街地では、本市の中心部にふさわしい都市景観を形成していくため、景観資源の整備・保全に取り組むとともに、屋外広告物等に対する規制などにより整然とした高質なまちなみの形成を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
一の谷川の水質向上の促進	→		
稲積山へのアクセス道路の整備	→		



のりあいバス



一の谷川

⑧その他

- 中心市街地における活性化対策として、地域住民や地元商業者が主催する各種プロジェクトと協調し、活性化に向けた相乗効果を目指します。
- 瀬戸内海国立公園にも含まれる名勝・琴弾公園の園内には道の駅「ことひき」があり、世界のコイン館や産直市などが併設されています。今後、琴弾公園の来園者の立ち寄りだけでなく、道の駅「ことひき」でのイベント開催やPR強化を図ります。
- 有明浜や琴弾公園、伊吹島等が有する優れた自然景観の保全を図るとともに、イベント等を推進して利用範囲の拡大を図ります。
- 有明浜キャンプ場や室本港周辺のマリンレジャー体験施設など既存施設の有効活用に積極的に取り組み、長時間滞在できる交流空間の創出を図ります。
- 住民の景観意識への啓発を図り、地区計画や建築協定*などを活用して地域主体の景観づくりを促進するとともに、住民・地域・事業者・行政が協働し良好なまちなみの形成を推進します。
- 伊吹地区は、離島振興法に基づく生活基盤の整備推進に加え、伊吹地区を代表するいりこ漁などの産業振興を図るとともに、瀬戸内国際芸術祭等の各種イベントを通じて地域の魅力向上や情報発信の強化などに取り組みます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
地域住民等が主宰のプロジェクトへの支援	→		
道の駅等や琴弾公園でのイベント開催やPR強化	→		
有明浜や琴弾公園の自然の保全	→		
既存施設の有効活用	→		
離島振興法に基づく伊吹地区の基盤整備や交流促進	→		

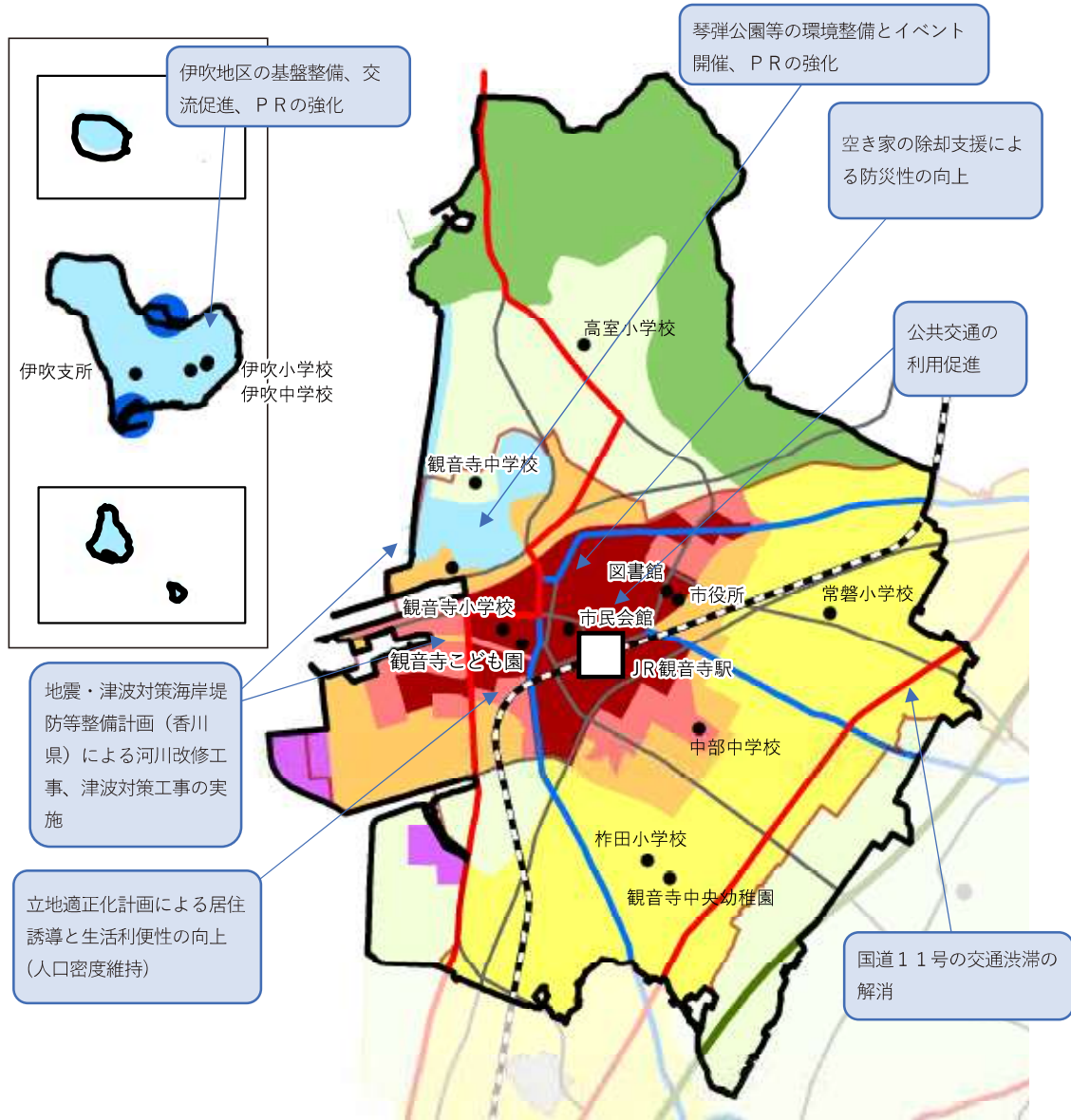


琴弾公園

















伊吹島行事

北部・島しょ地域の整備方針図



土地利用方針の凡例

	広域交通ネットワーク		居住誘導区域		地域産業地区
	広域交通ネットワーク (高松自動車道)		都市機能誘導区域		農業保全地区
	都市内連携交通ネットワーク		市街地周辺住宅地区		自然保全・観光地区
	鉄道		集落地区		環境保全・観光地区
	公共施設、学校等		工業専用地区		

3. 観音寺東部地域

3-1 地域の概要

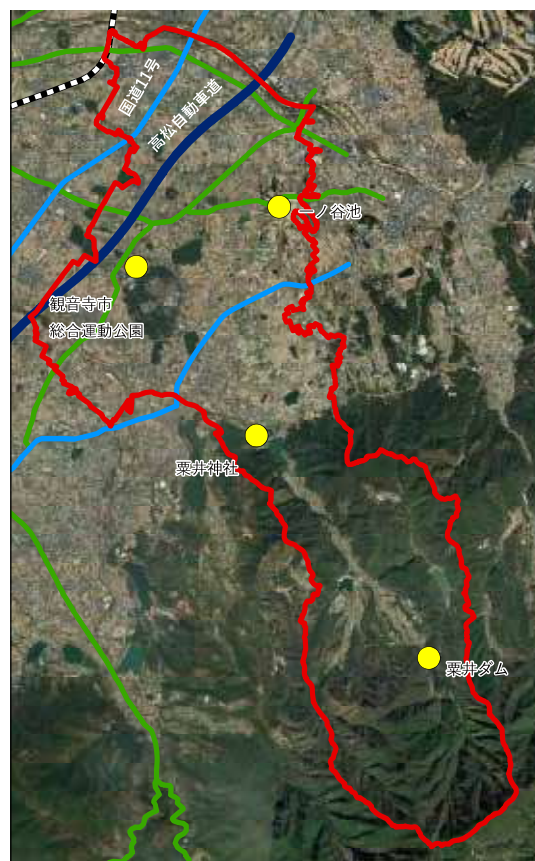
本地域は、南に山間地を配し、その山裾から平地にかけて田園地帯が広がり、その間を一の谷川、柞田川が流れている豊かな自然が残る地域です。

母神山丘陵周辺には、6世紀後期の古墳としては県内で最大級の籬子塚古墳をはじめ多くの古墳が群在し、山間地には遍路道・大興寺道があり、多くの文化財が残されています。

本地域では、国道11号沿いに商業施設等の生活利便施設が立地し、一の谷地区や木之郷地区など国道11号から東側にかけて住宅、店舗等の宅地化が進行しています。

本地域の人口は、平成12(2000)年の11,506人から平成27(2015)年の10,623人と15年間で7.7%減少し、長期的に減少傾向が続いています。

世帯数は、平成12年の3,643世帯から平成22(2010)年の4,047世帯と増加していましたが、平成27年に減少に転じ3,975世帯となっています。



出典：国勢調査 国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計(平成30年度)

3-2 現況と課題

(1) 土地利用

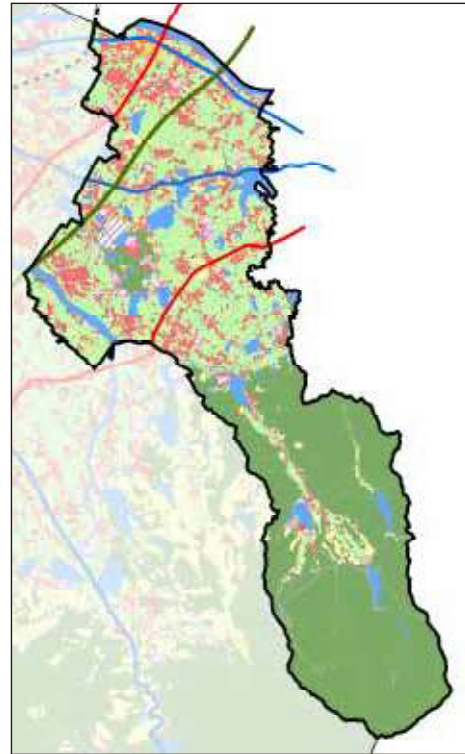
■ 現況

- ◇ 国道11号から東側では住宅地や商業地が集積し、国道11号と高松自動車道との間の地区では宅地化が進み、市街地の拡散によるスプロール化が続いています。
- ◇ 中央部は、山裾から平地にかけて豊かな田園地帯が広がっていますが、農業従事者の高齢化や担い手不足等により、遊休農地が増加傾向にあります。
- ◇ 山間部では、担い手の高齢化による山林の荒廃が懸念されています。

■ 課題

- ◇ 国道11号と高松自動車道との間の地区では宅地化によって、市街地拡散によるスプロール化が続いていることから、農村環境と都市環境との調和がとれた適切な土地利用が求められています。
- ◇ ほ場整備された優良農地の適切な保全を行うとともに、遊休農地の解消が必要です。
- ◇ 山林が持つ水源涵養機能や土砂災害防止機能などさまざまな機能を保全していくため、適切な間伐や枝打ちが必要です。

東部地域の土地利用現況



凡例	
田	工業用地
畑	農林漁業施設用地
山林	公益施設用地
水面	道路用地
その他自然地	交通施設用地
住宅用地	公共空地
商業用地	その他の空地

(2) 交通体系

■ 現況

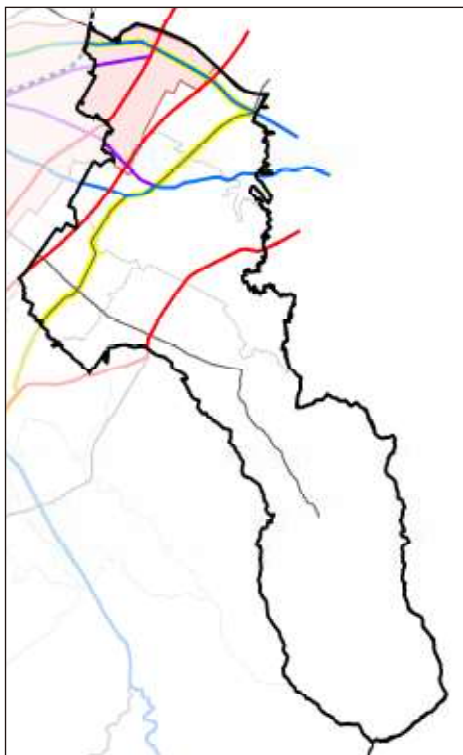
- ◇ 南北に国道11号、国道377号、高松自動車道が走り、東西には主要地方道観音寺池田線、主要地方道込野観音寺線、県道粟井観音寺線が走っています。
- ◇ 国道11号にアクセスする交差点では、通勤通学時間帯は非常に混雑します。
- ◇ 本地域内の高松自動車道沿道に観音寺スマートインターチェンジが計画されています。
- ◇ のりあいバス路線は、内循環線・外循環線・粟井姫浜線の3路線が運行しています。内循環線「山王～池之尻郵便局」区間では、1日に往復15便以上が運行する利便性の高い区間となっています。

■課題

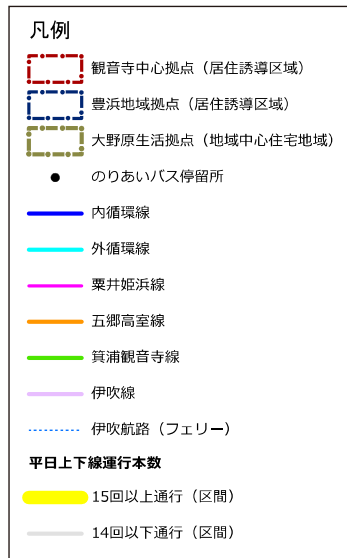
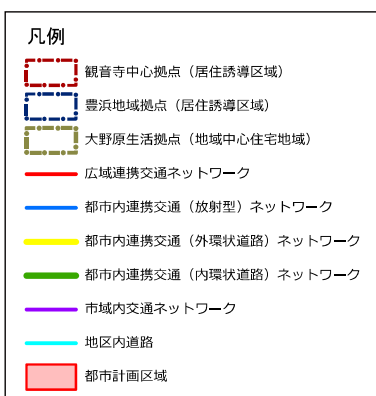
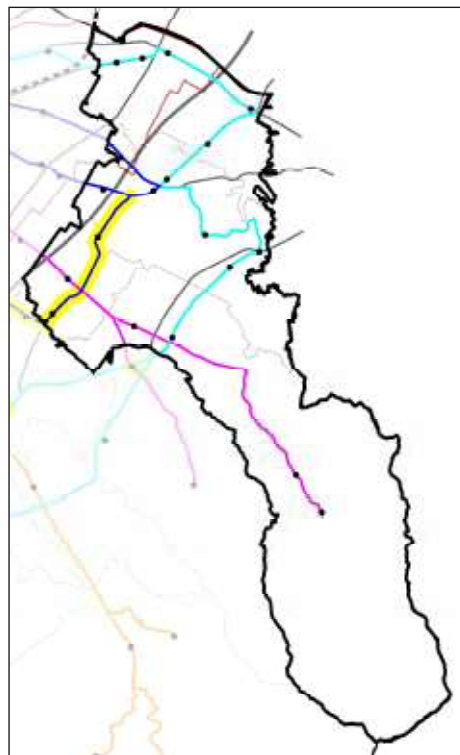
◇交通渋滞の緩和による快適性の向上や新たな交通結節点との交通アクセス性の強化が必要です。

◇のりあいバスの利便性が低い区間では、利便性の向上を図り、利用を促進する必要があります。

東部地域の交通ネットワーク



東部地域の公共交通網図



(3) 都市施設・都市機能

■ 現況

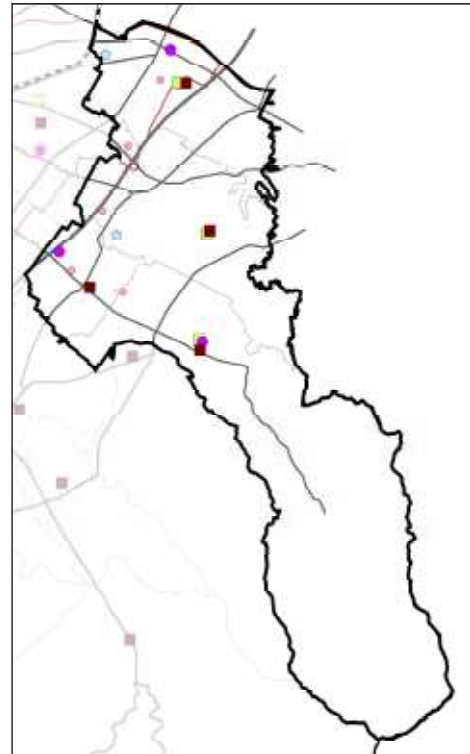
◇既存集落を中心に、公民館、学校等の教育施設及び子育て施設などの都市機能が立地しています。

■ 課題

◇既存集落の形成された地域において、一定の生活サービス機能を維持する必要があります。

凡例			
	観音寺中心拠点（居住誘導区域）		小学校
	豊前地域拠点（居住誘導区域）		中学校
	大野原生活拠点（地域中心住宅地域）		高等学校
	都市計画区域界		子育て施設（幼稚園・保育園）
	観音寺市役所		図書館
	支所		スポーツ施設
	JR駅		資料館
	市民会館		消防機関
	公民館		市営住宅

東部地域の都市機能



(4)防災

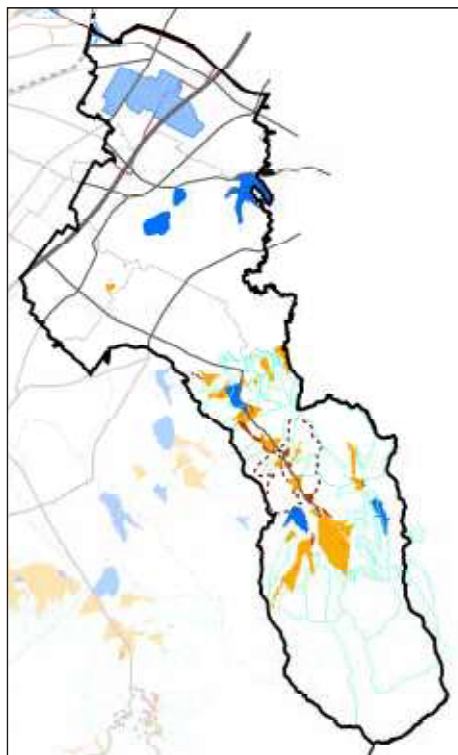
■現況

- ◇山間部では、大雨や台風等によりたびたび土砂災害が発生し、平成16(2004)年には土砂災害等で大きな被害を受けました。現在は、砂防ダムの整備や土砂災害警戒区域/特別警戒区域が指定されています。
- ◇一ノ谷地区では、平成16年台風による浸水、被害が発生し、国道11号や幹線道路沿道の商業施設や住宅が被災しました。
- ◇本地域の田園地帯には、一ノ谷池、仁池、亀尾池をはじめ大小さまざまなため池が点在し、豊かな田園景観を形成していますが、台風や南海トラフ地震などの大規模災害ではため池決壊の危険性が高まると危惧されています。

■課題

- ◇砂防ダムの整備や土砂災害警戒区域/特別警戒区域の指定による危険区域の周知が求められます。
- ◇浸水被害が発生した地域や浸水想定区域では、河川の排水機能の能力向上が必要です。
- ◇老朽ため池の改修が必要です。

東部地域のハザード区域



凡例

- 高松自動車道
- 幹線道路
- 鉄道
- 都市計画区域
- 耐震・防火対策
- ◆ 津波・高潮対策
- 大雨による浸水区域
- 高潮による浸水区域
- 地震による浸水想定区域 (浸水深30cmが30分以内に到達する区域)
- 財田川浸水想定区域 (浸水深2m以上)
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地)
- 土石流危険渓流
- 地すべり危険箇所
- ため池改修の対象池

(5) 公園緑地

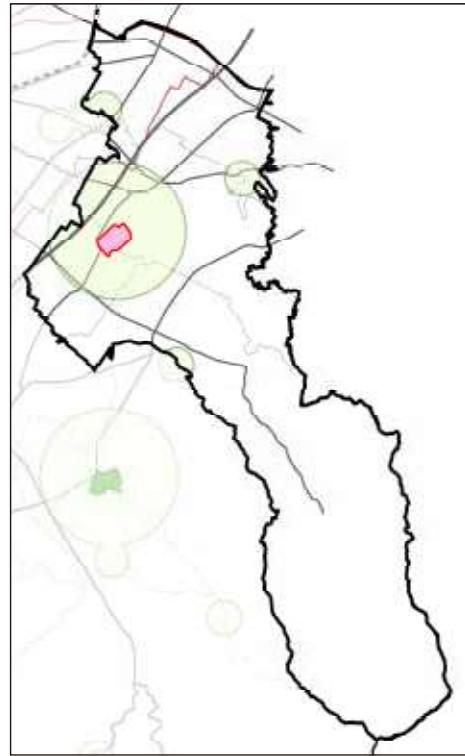
■ 現況

◇ 東部地域は公園緑地が3箇所あります。観音寺市総合運動公園は、スポーツだけでなく憩いの自然空間やレクリエーション空間として、本市及び近隣地域から多くの人々が利用しています。

■ 課題

◇ 観音寺市総合運動公園の利用促進を図るため、近接する施設との連携やPR強化が必要です。

東部地域の公園緑地



凡例

	観音寺中心拠点（居住誘導区域）
	豊浜地域拠点（居住誘導区域）
	大野原生活拠点（地域中心住宅地域）
	住宅地区
	高松自動車道
	幹線道路
	鉄道
	都市計画区域
	一般風致・一般運動公園
	地区公園
	近隣公園
	街区公園
	その他公園
	誘致距離

(6)都市景観

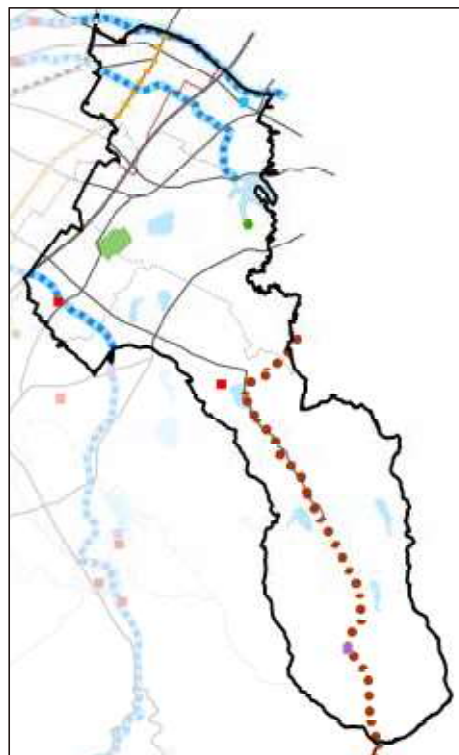
■現況

- ◇一の谷川や柞田川などの水辺環境は、周辺住民の憩いの場となっています。
- ◇鐘子塚古墳や瓢箪塚古墳など県内屈指の古墳時代後期の古墳群である母神山古墳や市指定史跡の青塚古墳、歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道として文化庁の歴史の道百選にも選定されている大興寺道の一部、川鶴酒造など本地域を代表する歴史的・文化的景観があります。

■課題

- ◇今後も、水辺環境の適切な保全が必要です。
- ◇歴史的・文化的景観を観光資源として活用を図るとともに、適切な保全や情報発信が必要です。

東部地域の都市景観

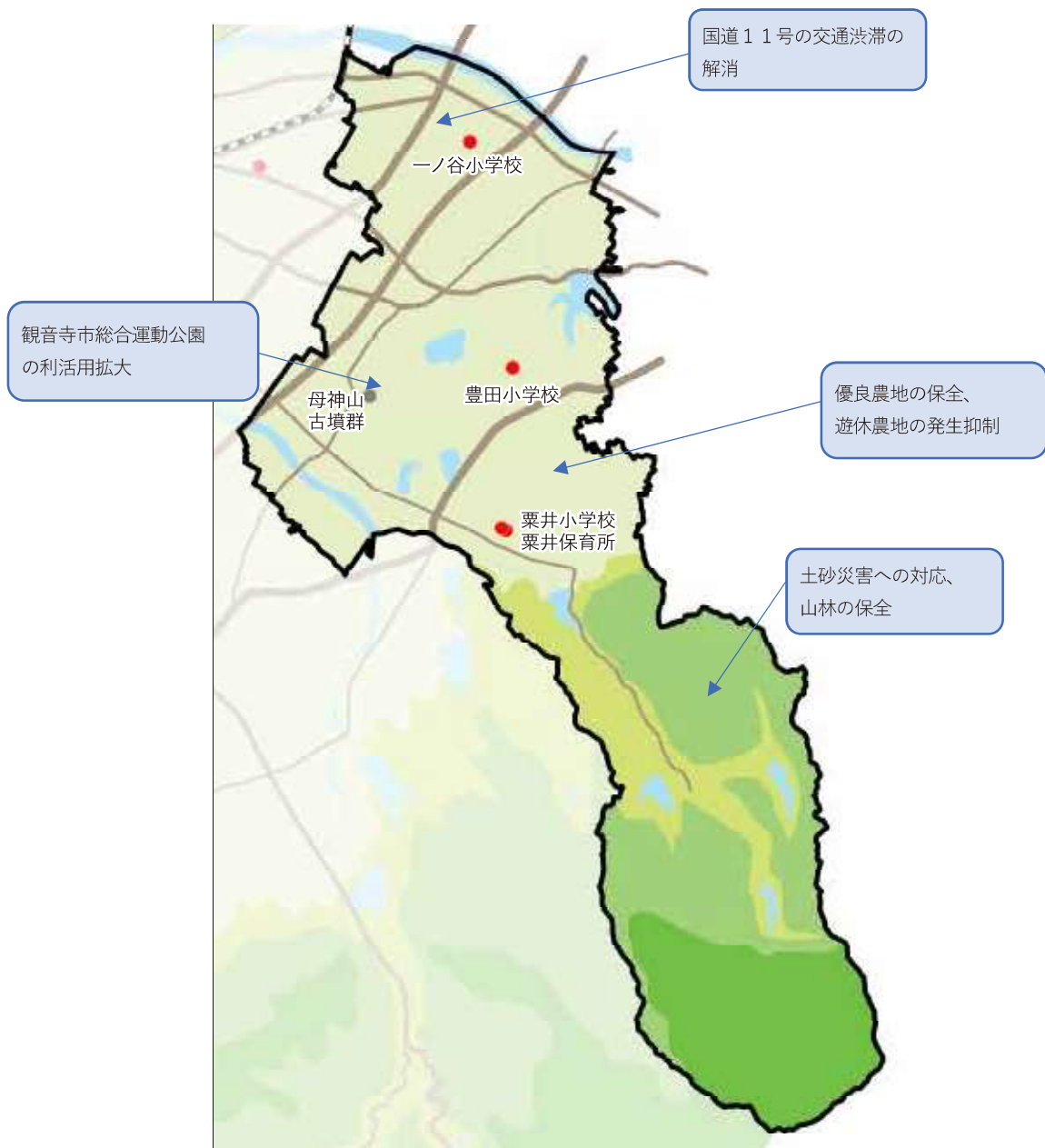


凡例

- 観音寺中心拠点 (居住誘導区域)
- 豊浜地域拠点 (居住誘導区域)
- 大野原生活拠点 (地域中心住宅地域)
- 自然景観
- 歴史的景観
- 文化的景観
- 保存木
- 沿道施設
- へんろ道
- 住宅地区
- 公園
- 海浜
- 水の軸
- 緑の軸

(7) 東部地域の主要な課題

- ・ 既存集落の維持活性化
- ・ 国道11号における交通渋滞の解消
- ・ 優良農地の保全、遊休農地の発生抑制
- ・ 土砂災害への対応、山林の保全
- ・ 観音寺市総合運動公園の利活用拡大



3-3 東部地域のまちづくり構想

(1) 目指すべき将来像

ゆとりのある生活環境と豊かな自然・スポーツ施設の
充実した快適で健康な生活を育む

～安全で快適な暮らしと活力のある健康のまちづくり～

将来像を実現するための重点目標として、下記の目標を定めます。

① 田園環境の保全

本地域は、ほ場整備された優良農地と数多くのため池が存在します。田園景観とため池が融合した景色は、この地域を代表する文化的景観であることから、この文化的景観を保全するため、無秩序な市街化を抑制するとともに、遊休農地の有効活用やため池の維持管理を実施します。

② ゆとりのある生活環境の形成

東部地域は、のどかな田園風景と緑豊かな山間部が広がる自然豊かな地域です。田園風景を感じながら自然と調和したゆとりある生活環境の形成を推進するため、適正な土地利用の誘導を図るとともに、移動のための歩行空間整備や地域防災力向上等により、良好な生活環境の創出を目指します。

③ スポーツ等による健康、交流づくり

東部地域は、全体構想においてスポーツ・レクリエーション拠点に設定した観音寺市総合運動公園を有し、市民だけでなく近隣地域から利用者が来訪し、高齢者から子どもまで幅広く利用されています。この拠点施設の利活用促進を図るとともに、民間施設や歴史的景観等との連携を図りながらスポーツイベントを通じての健康づくりや交流創出を図ります。



田園景観



粟井神社



スポーツイベント

(2) 分野別方針と主要な施策

① 土地利用

- 住宅や商業施設が無秩序に立地し、良好な営農環境が損なわれることを防止するため、ほ場整備された優良農地の適切な保全を図るとともに、遊休農地の有効活用を推進します。
- 営農環境の保全を図るため、無秩序な開発を抑制し、適切な土地利用の誘導に努めます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
優良農地の適切な保全			
遊休農地の有効活用			

② 交通体系


- 東部地域から国道11号にアクセスする交差点は、朝夕の通勤通学時に非常に混雑することから、円滑な交通流を確保するため、国道11号の4車線化の整備及び渋滞交差点の改良を促進します。
- のりあいバスの利用促進を図るとともに、新たなスマートインターチェンジなど交通結節機能へ交通アクセス性の強化を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
国道 1 1 号の 4 車線化の促進			
新たな交通結節点の整備（新スマートインターチェンジの整備）			
のりあいバスの利用促進			

③ 都市防災


- 各種ハザードマップの作成・配布、自主防災組織の育成支援、地域における情報伝達体制の整備など地域防災力の強化を図ります。
- また、過去に浸水が発生した一ノ谷地区では、現況河川等の能力向上を促進します。
- 数多くのため池が存在することから、ため池の決壊による災害を防止するため、ため池の改修を促進します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
各種ハザードマップの作成など地域防災力の強化			
流域防災事業（香川県）			

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
ため池の改修			


④住環境の整備

- 都市内連携交通ネットワークに位置づけられている主要地方道観音寺池田線や主要地方道善通寺大野原線、主要地方道込野観音寺線は、歩道が設置されていない区間が多く見られます。住民が安心して生活できるよう、歩道整備を積極的に促進します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
歩行空間の整備			



⑤公共施設

- 公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づき、公共施設の統廃合・再配置を進めるとともに施設の適切な維持管理に努めます。
- 観音寺市総合運動公園において、プロスポーツ団体が行う地域密着型イベントや交流会、スポーツ教室の開催などプロのアスリートを身近に感じることができる環境づくりを今後も継続します。
- さまざまなスポーツを地域に広げるため、指導者育成のための研修を支援します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
観音寺市総合運動公園のイベント開催			
指導者育成のための研修支援			

⑥産業

- ほ場整備された優良な田園環境を維持するため、若手農業者や農業法人など担い手等への農地集積を推進し、遊休農地の発生抑制を図ります。また、遊休農地は、農業・食教育など学校教育等における利用等を検討します。
- 関係機関と連携し、荒廃農地等利活用促進事業を活用して、人と農地の問題の解消に取り組みます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
若手農業者や農業法人などの人材育成			
荒廃農地等利活用促進事業の活用			

⑦地域資源

- 東部地域の美しい田園風景の構成要素であるため池には、ホタルが生息するなど特有の生態系が形成されています。このような田園環境を保全していくため、地域住民による身近なため池や水路の維持管理、今後の整備手法等について検討します。
- 約60基の古墳が群在し、罐子塚古墳や瓢箪塚古墳など重要な遺跡が存在する「母神山古墳群」は、これら古墳群を一体的に保全していきます。また、一ノ谷池のほとりの青塚古墳は適切な保全を図ります。
- 令和元(2019)年に「歴史の道百選」に追加選定され、歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道、本市に今も遺る讃岐遍路道「大興寺道」の一部は、交通関係遺跡でもあることから、適切な保全と有効活用を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
生態系の保全(ため池、水路の維持管理)	→		
古墳群や讃岐遍路道など歴史的・文化的価値のある景観の適切な保全	→		

⑧その他

- 市民協働によるまちづくりの推進を図るとともに、地域の活性化に努めます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
自治会活動支援事業	→		
市民団体等活動促進事業	→		

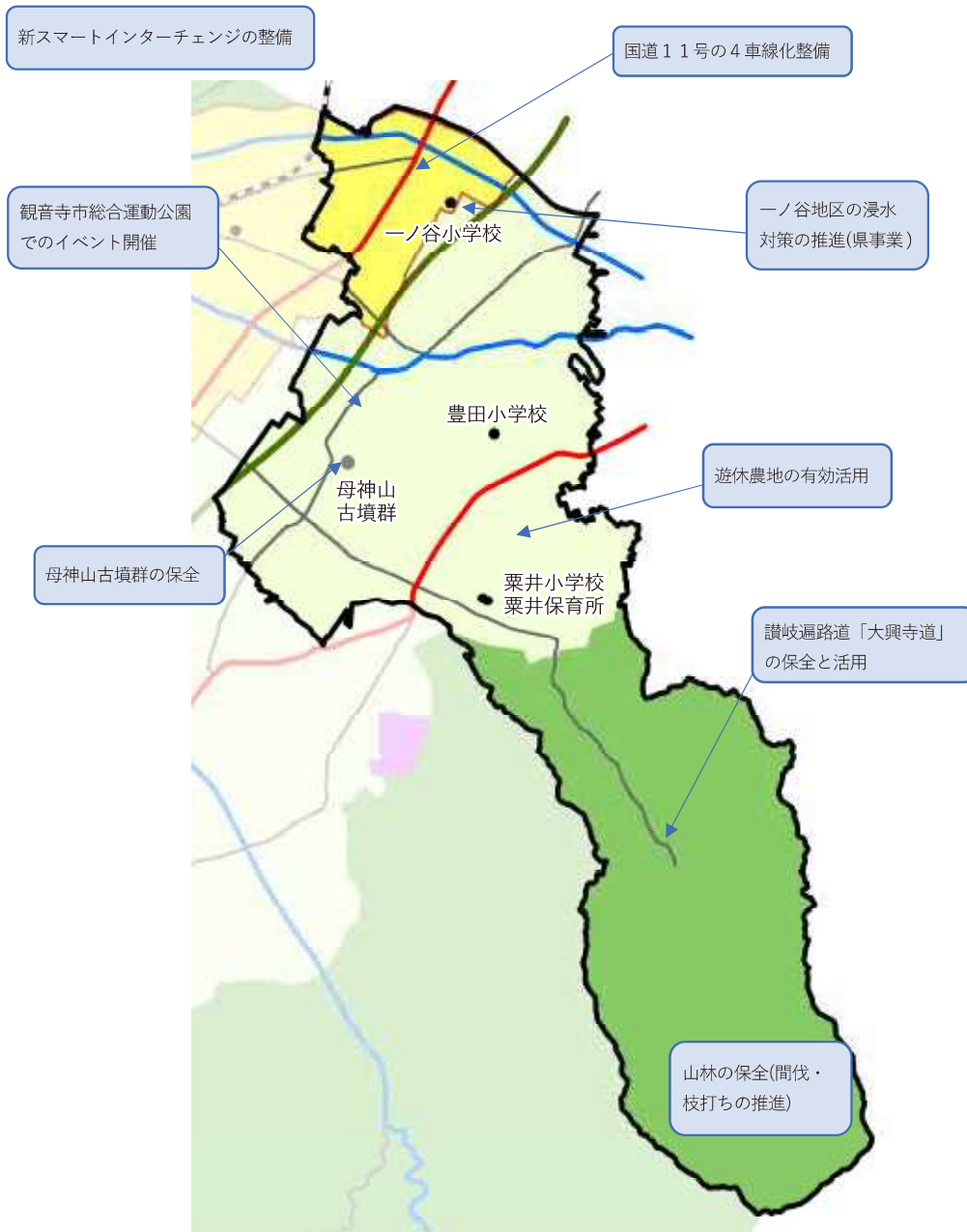


遍路道











罐子塚古墳

東部地域の整備方針図



土地利用方針の凡例

- | | |
|--|---|
|  広域交通ネットワーク |  集落地区 |
|  広域交通ネットワーク
(高松自動車道) |  農業保全地区 |
|  都市内連携交通ネットワーク |  自然保全・観光地区 |
|  鉄道 |  公共施設・学校等 |

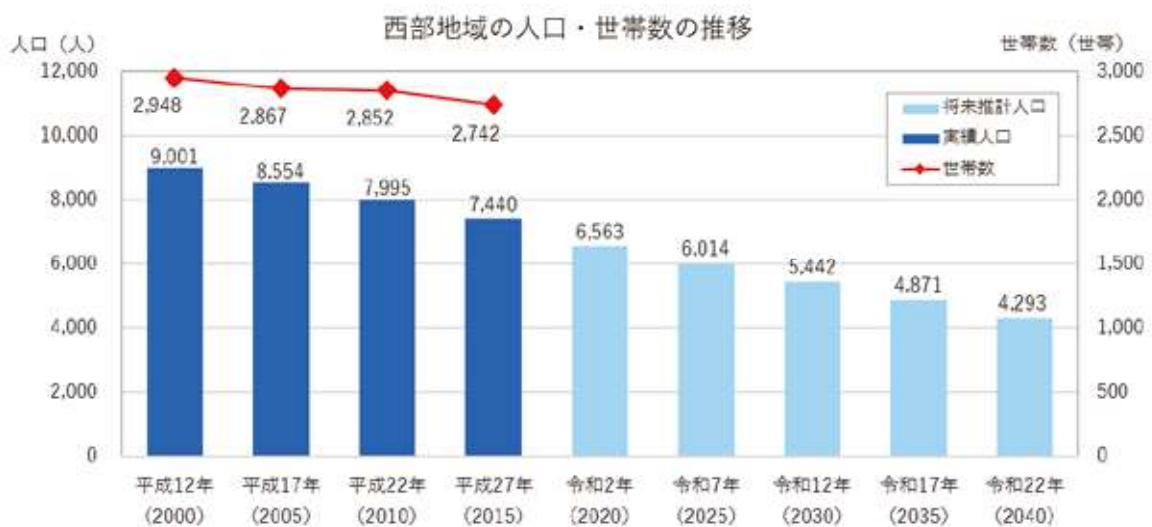
4. 観音寺西部地域

4-1 地域の概要

本地域は、北西に平地、東南に中山間、西は瀬戸内海(燧灘)に面し、8.6kmにおよぶ遠浅の海岸線に面した地域です。

海岸線に近接して走る国道11号沿道には豊浜支所や三豊総合病院等があり、東側に小中学校、豊浜総合体育館等(すぽっしょTOYOHAMA)も立地し、これらの周辺には市街地が形成されています。

本地域の人口は、平成12(2000)年の9,001人から平成27(2015)年の7,440人と15年間で17.3%減少し、他地域に比べ人口の減少が顕著となっています。また、世帯数は平成12年の2,948世帯から平成27年の2,742世帯と減少し続け、人口・世帯数ともに長期的に減少傾向が続いています。



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計(平成30年度)

4-2 現況と課題

(1) 土地利用

■ 現況

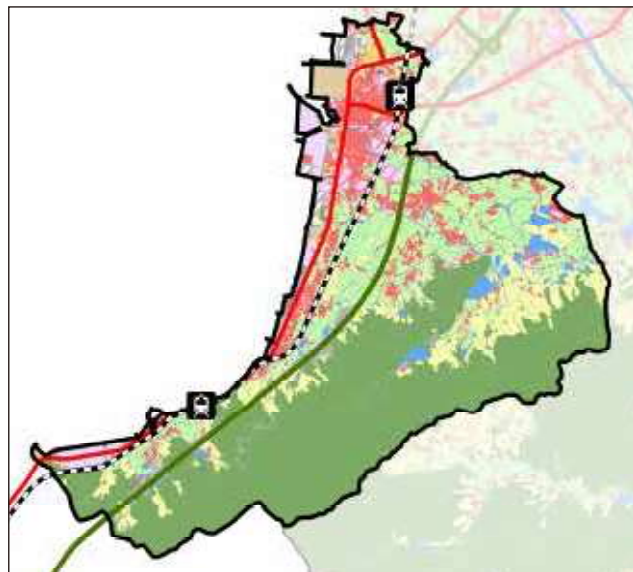
- ◇ JR豊浜駅を中心に住宅地が集積していますが、古くからの住宅地が多いため建物の密集や狭い道が多く、他地域に比べても人口減少が著しいことから空き家・空き店舗が増加しています。
- ◇ 国道11号沿道には商業地、臨海部には工業用地が存在します。

■ 課題

- ◇ 空き家の適切な管理や利活用による賑わいの創出が必要です。
- ◇ 国道11号沿道の商業地や臨海部の工業用地は、適切な土地利用を図るため、計画的な誘導が必要です。

西部地域の土地利用現況

凡例			
	田		工業用地
	畑		農林漁業施設用地
	山林		公益施設用地
	水面		道路用地
	その他自然地		交通施設用地
	住宅用地		公共空地
	商業用地		その他の空地



(2) 交通体系

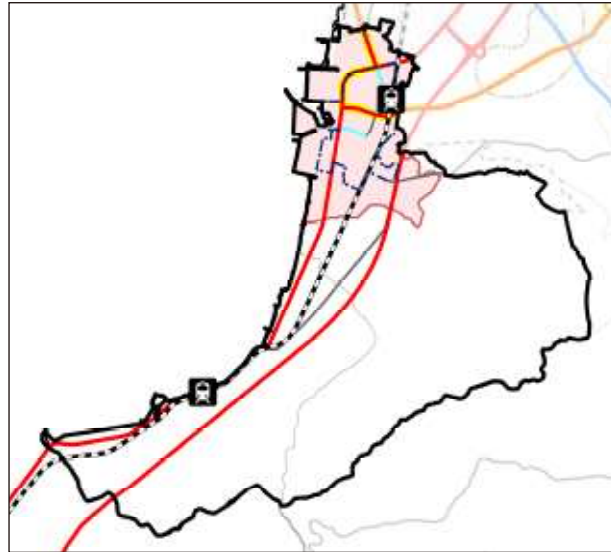
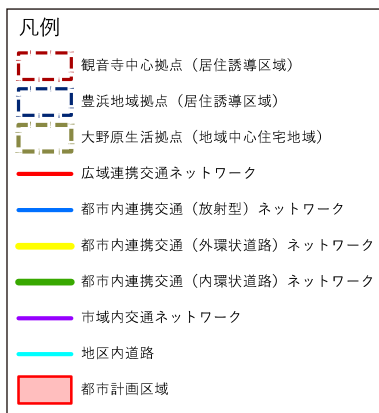
■ 現況

- ◇ 南北に、国道11号、県道丸井萩原豊浜線、JR予讃線が走っています。
- ◇ 広域を結ぶ交通拠点として、JR豊浜駅とJR箕浦駅があります。
- ◇ のりあいバス路線は、内循環線・外循環線・粟井姫浜線・五郷高室線・箕浦観音寺線の5路線が運行し、全ての路線が三豊総合病院に乗り入れており、三豊総合病院を発着場として国道377号方面と主要地方道丸亀詫間豊浜線方面へ、それぞれ1日に15便以上運行している利便性の高い区間となっています。

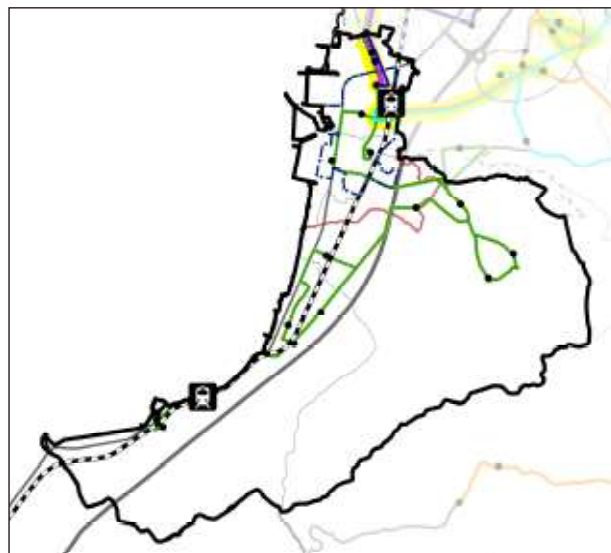
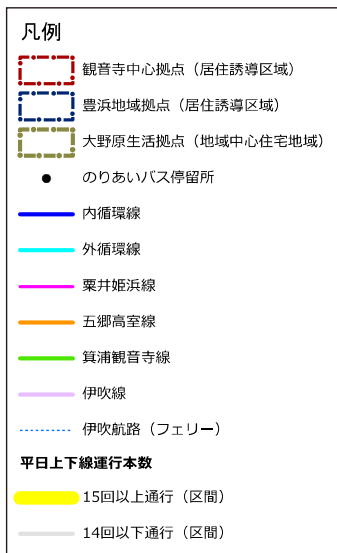
■課題

◇のりあいバスの利便性が低い区間では、利便性の向上を図り、利用を促進する必要があります。

西部地域の交通ネットワーク



西部地域の公共交通網図



(3) 都市施設・都市機能

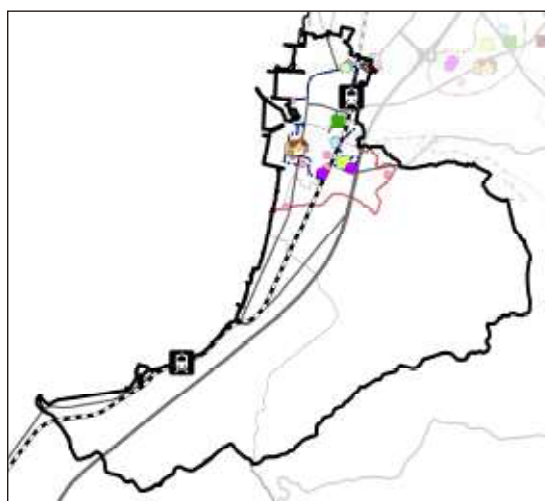
■現況

- ◇市街地には、豊浜支所や三豊総合病院、小中学校等の教育施設、豊浜総合体育館(すぽっしょTOYO HAMA)や図書館等の文化機能が集積しています。
- ◇JR豊浜駅付近の国道11号沿道には、スーパーマーケットや銀行、クリニックなどの生活利便施設が立地していますが、JR箕浦駅周辺には公共施設等や生活利便施設が少ない状況です。

■課題

- ◇JR豊浜駅周辺において、生活利便施設の維持・集積を図る必要があります。
- ◇公共施設の適切な管理を行い、地域拠点としてのサービス機能を維持する必要があります。

西部地域の都市機能



(4) 防災

■現況

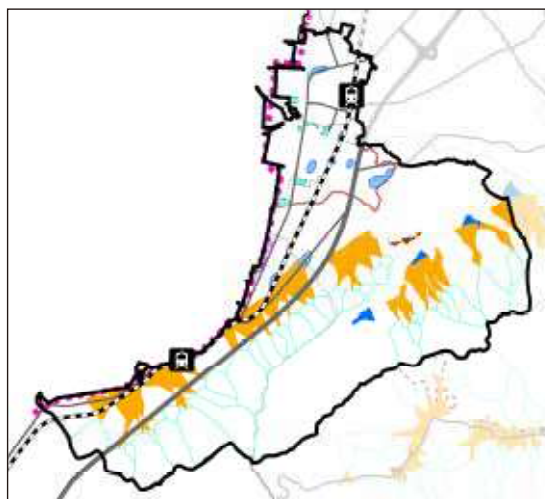
- ◇山間部では平成16(2004)年に土砂災害などで大きな被害を受け、砂防ダムの整備による安全性の向上を図るとともに、土砂災害警戒区域/特別警戒区域が指定されています。
- ◇河川沿いでは、大雨や高潮時に浸水被害等が想定されています。
- ◇本地域の山裾には、野々池や姥ヶ懐池、河内池をはじめ大小さまざまなため池が点在し、田園景観を形成しています。

■課題

- ◇土砂災害警戒区域/特別警戒区域を指定されている危険区域については、周知を推進し、さらなる安全性の向上を図る必要があります。
- ◇浸水想定区域では、河川改修等や排水能力の向上が必要です。
- ◇台風や南海トラフ地震など大規模災害では、ため池決壊の危険性が高まるため、大規模ため池の耐震化や老朽ため池の改修が必要です。

西部地域のハザード区域

凡例	
— 高松自動車道	地震による浸水想定区域 (浸水深30cmが30分以内に到達する区域)
— 幹線道路	財田川浸水想定区域(浸水深2m以上)
- - - 鉄道	土砂災害警戒区域(土石流)
▭ 都市計画区域	土砂災害警戒区域(急傾斜地)
▭ 耐震・防火対策	土石流危険渓流
▭ 津波・高潮対策	地すべり危険箇所
▭ 大雨による浸水区域	ため池改修の対象池
▭ 高潮による浸水区域	



(5) 公園緑地

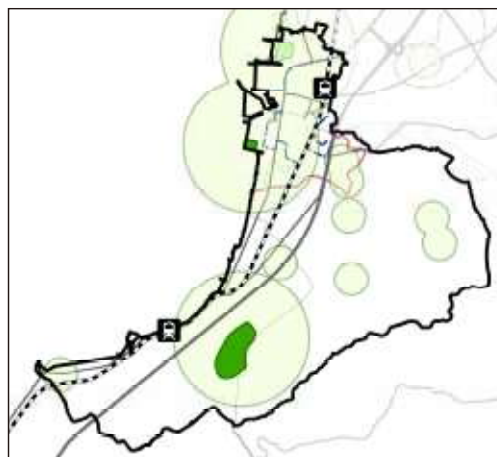
■ 現況

- ◇西部地域は公園緑地が12箇所あります。
- ◇魚見山森林公園は、展望所から三豊平野と燧灘が一望でき、四季の変化が楽しめます。
- ◇一の宮公園は、白砂青松の海水浴場として古くから親しまれ、多彩なイベントが催されています。

■ 課題

- ◇魚見山森林公園は、自然とふれあえる施設として利活用するため、利用しやすい施設整備やイベント開催などを検討する必要があります。
- ◇一の宮公園は、多くの人々が訪れる空間として、より親しみやすい公園となるような活用が必要です。

西部地域の公園緑地



凡例	
▭ 観音寺中心拠点(居住誘導区域)	▭ 一般風致・一般運動公園
▭ 豊浜地域拠点(居住誘導区域)	▭ 地区公園
▭ 大野原生活拠点(地域中心住宅地域)	▭ 近隣公園
▭ 住宅地区	▭ 街区公園
— 高松自動車道	▭ その他公園
— 幹線道路	▭ 誘致距離
- - - 鉄道	
▭ 都市計画区域	

(6) 都市景観

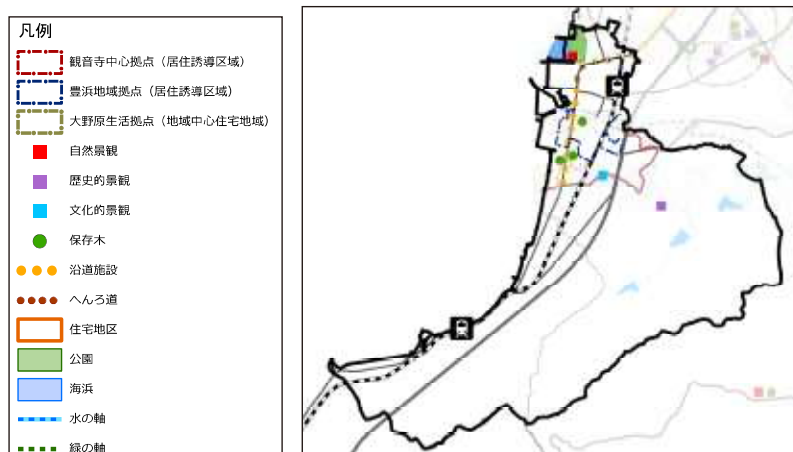
■ 現況

- ◇国登録有形文化財の四国工芸社門や、伝統文化であるちょうさ(太鼓台)等が存在しています。
- ◇一の宮海岸は、白砂青松の遠浅海岸として親しまれている自然資源で、隣接する一の宮公園は、市民の憩いの場であるとともに、レジャー・レクリエーションで多くの人々が訪れる西部地域の代表的な交流の場です。

■ 課題

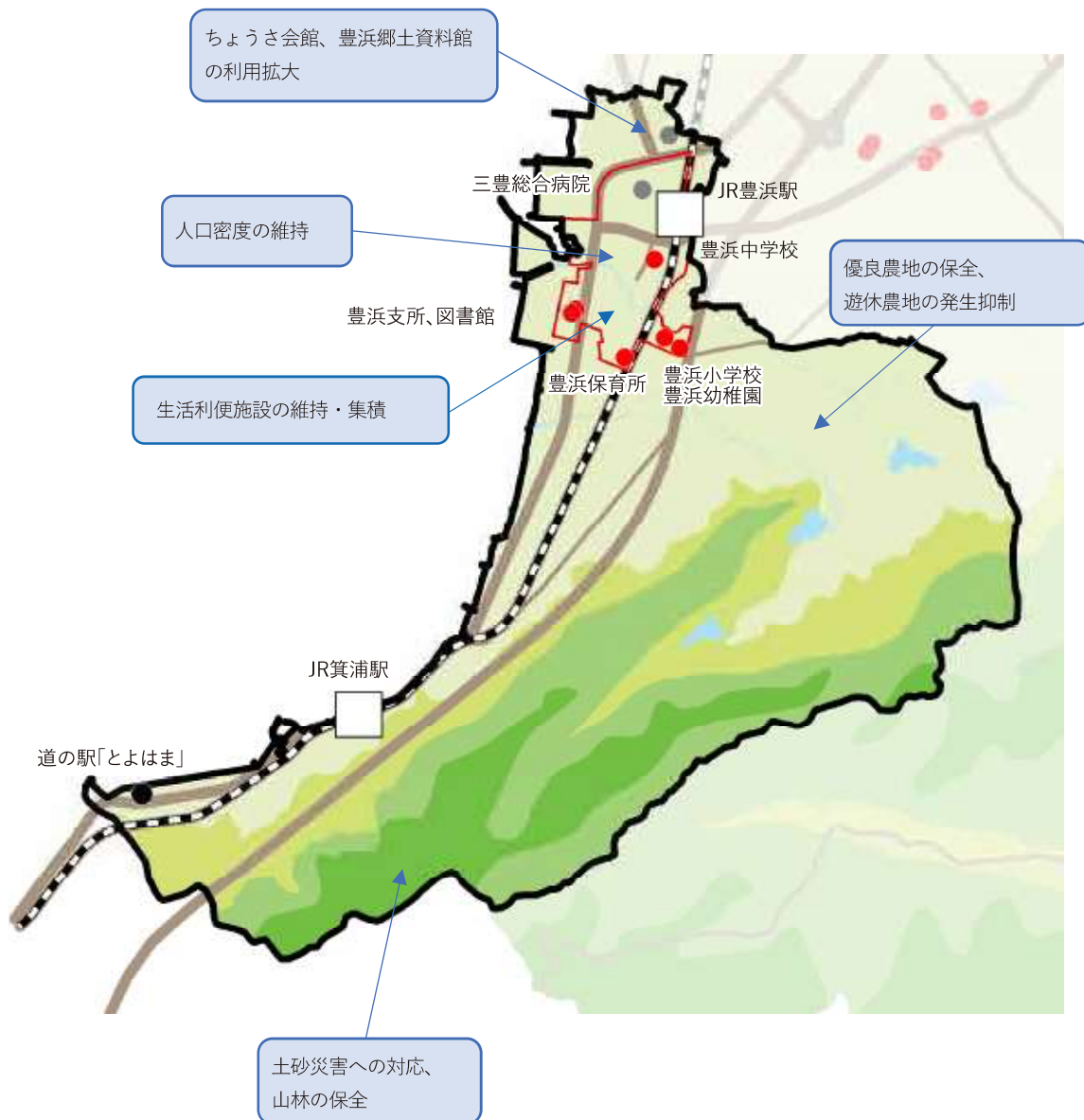
- ◇ちょうさ(太鼓台)等の文化資源を景観資源として保存、活用し、歴史や文化の継承を通じた整備地域独自の交流の創出が必要です。
- ◇一の宮海岸等の自然資源のさらなる利活用のためには、継続的な海岸清掃等による保全と情報発信等のPR強化の取組が必要です。

西部地域の都市景観



(7) 西部地域の主要な課題

- ・ 地域中心住宅地区における人口密度の維持
- ・ 優良農地の保全、遊休農地の発生抑制
- ・ 土砂災害への対応、山林の保全
- ・ ちょうさ会館、豊浜郷土資料館の利用拡大
- ・ 伝統文化の保全、継承



4-3 西部地域のまちづくり構想

(1) 目指すべき将来像

歴史文化や恵まれた自然を育み、活かし、
誰もがいきいきと生涯を過ごせる

～安心して住みやすい生活利便性の高いまちづくり～

将来像を実現するための重点目標として、下記の目標を定めます。

① いきいきと暮らせる地域拠点づくり

西部地域は、伝統的文化活動であるちょうさ祭が盛んであり、日頃から地域コミュニティ活動が活発な地域です。今後は、これらのコミュニティ活動を活かし、地域住民主体で暮らしやすい居住環境の構築を目指すとともに、他地域からの人々に移住先として選ばれる開放的な地域コミュニティの創造に取り組みます。

② 自然と共に生きる環境の形成

西部地域は、海、山に囲まれた自然豊かな地域です。海岸部には一の宮公園、山間部には大谷やすらぎ公園、魚見山森林公園等が存在します。これらの資源を有効活用することにより、人々の生活の質の向上に向けた自然とのふれあい空間を強化していきます。

③ 伝統文化の活用による交流の促進

西部地域には、ちょうさ祭をはじめ国登録有形文化財等のさまざまな歴史資源や文化が存在します。これらの資源や文化を保全し、人々が交流し、ふれあえる機能を充実させることで西部地域独自の交流の創出に取り組みます。



一の宮公園



道の駅とよはま



豊浜ちょうさ祭り

(2) 分野別方針と主要な施策

① 土地利用

- 市街地での居住を促進するため、空き地や空き家などの低・未利用地の有効活用などにより、居住誘導区域内への居住機能の誘導を図ります。
- 都市機能誘導区域内において、商業、医療、子育て支援施設など日常生活を支えるさまざまな都市機能を身近な範囲に適切に配置することにより、市民の生活利便性の確保を目指します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
居住誘導による市街地への人口集積	→		
都市機能施設の適正配置による生活利便性の向上	→		

② 交通体系

- 拠点への交通アクセス性の強化を図るため、鉄道やのりあいバスなど公共交通の利便性の向上に努めます。また、JR豊浜駅から三豊総合病院を結ぶ道路においては歩道整備により、安全な歩行空間の創出に取り組みます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
歩道整備の推進	→		
のりあいバスの利用促進	→		

③ 都市防災

- 住宅が密集し、道路幅員も狭い古くからの住宅地では、建築物の不燃化や老朽化の著しい危険な空き家の除却を促進するなど防災性の向上に努めます。
- ため池の決壊による災害を防止するため、ため池の改修を推進します。
- 津波・高潮対策として海岸堤防や防波堤の整備・改修や河川堤防の耐震化等を促進するとともに、各種ハザードマップの作成・配布、自主防災組織の育成支援や地域における情報伝達体制の整備など地域防災力の強化を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
老朽危険空き家の除却支援	→		
ため池の改修	→		

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
各種ハザードマップの作成など地域防災力の強化		継続実施	

④住環境の整備

- JR豊浜駅を中心に生活機能を集積し、周辺の市街地や集落の生活を支える日常生活のサービス拠点にふさわしい都市空間を創出します。
- 古くからの住宅地では、通勤通学時の狭あい道路での自動車交通に対する危険があるため、住民の合意の下、快適な歩行者空間を創出するために良好な住環境の整備について検討します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
住環境整備の検討			

⑤公共施設

- 公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づき、拠点内での公共施設の立地を重視しつつ、施設の統廃合・再配置を進めるとともに施設の適切な維持管理に努めます。
- 住民がスポーツに継続的にふれあえる拠点施設として豊浜総合体育館(すぽっシュTOYOHAMA)等が利用しやすいように周辺道路の自転車歩行者道の整備を検討します。
- 大谷やすらぎ公園は、今後も山の自然とふれあえる空間として有効活用を図るとともに、施設の魅力向上と情報発信の強化に努めます。
- 台山農村公園は、近傍の歴史施設との連携を図るなど魅力向上に努めるとともに、情報発信の強化に努めます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
公園の有効活用と情報発信の強化			

⑥産業

- 優良な田園環境を維持するため、若手農業者や農業法人など担い手等への農地集積を推進し、遊休農地の発生抑制を図ります。
- 西部地域の山裾部分では、傾斜地を利用した梨栽培が盛んであるため、地域特産品である梨の栽培促進や収穫体験等によるPR強化を図り、地域特産品の生産を支えます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
遊休農地の発生抑制			

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
梨栽培の促進や収穫体験による P R 強化	→		

⑦地域資源

- 一の宮海岸は、白砂青松の遠浅海岸として古くから親しまれている西部地域を代表する自然資源です。一の宮公園は、市民の憩いやレジャー・レクリエーション、「恋人の聖地」として多くの人を訪れています。これらの資源のさらなる利活用を図るため、海岸清掃等による保全に努めるとともに、定期的なイベントの開催やPR強化等に取り組みます。
- 魚見山森林公園は、ボランティア活動により公園の維持管理や健康ウォークなどのイベントが開催されています。今後も、健康や自然とふれあえる施設として利活用を促進します。

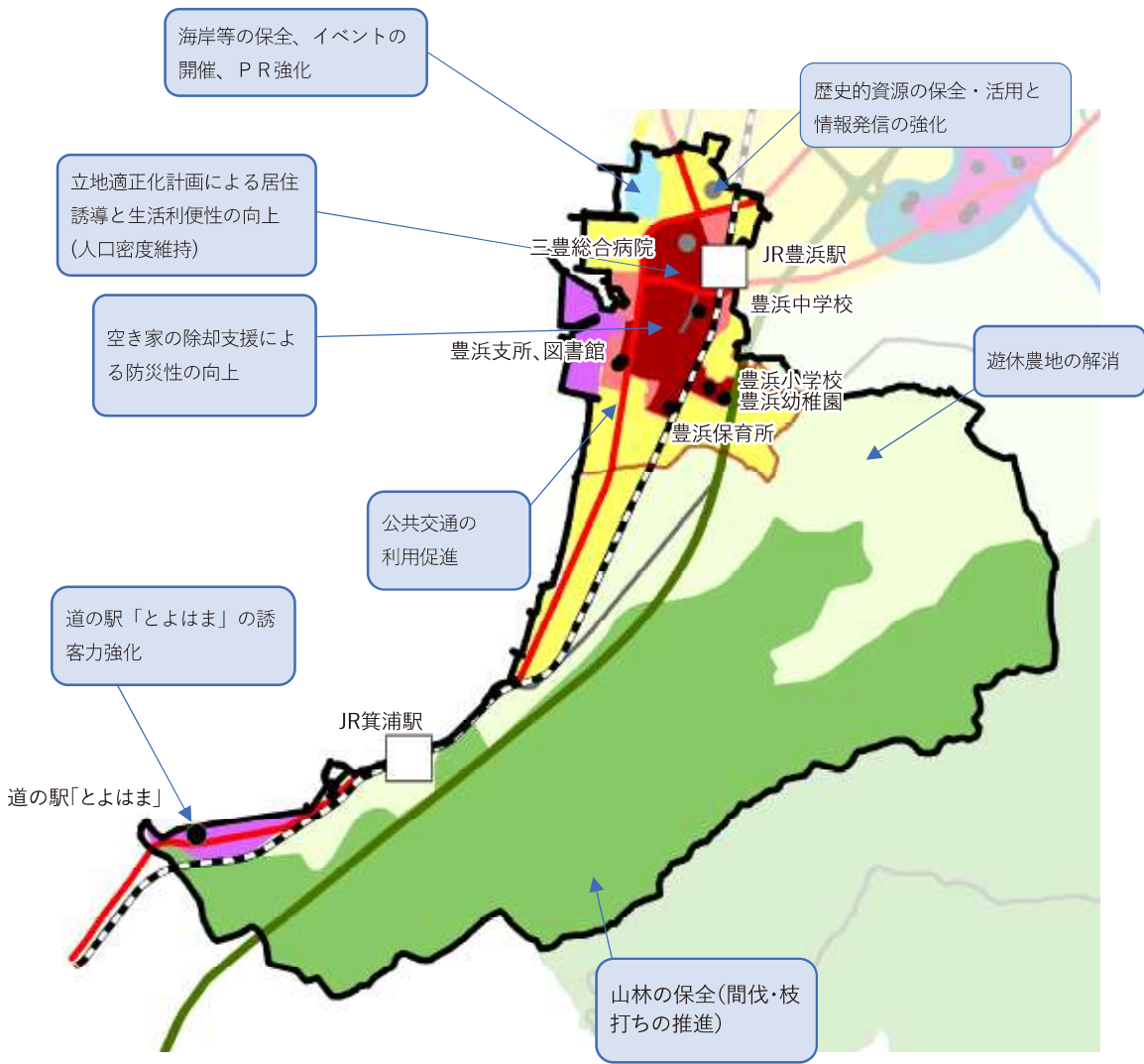
主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
一の宮公園の定期的なイベントの開催・P R 強化	→		
魚見山森林公園でのイベント開催	→		

⑧その他













- 西部地域は、勇壮なちょうさ祭をはじめ、国登録有形文化財や保存木などのさまざまな歴史的資源や文化が存在します。今後も、これらの地域文化資産等の保全を図るとともに、歴史的資源を有効活用して交流を創出するため、イベントの開催や情報発信の強化に努めます。
- 愛媛県との県境にある道の駅「とよはま」は地域住民のみならず国道11号の通過客等の利用が多い施設です。今後は、道の駅「とよはま」でのイベント開催や情報発信の強化を図るとともに、本市独自コンテンツの活用による誘客力の強化などについて検討していきます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
歴史的資源の保全とイベント開催	→		
道の駅「とよはま」の誘客力の強化	→		

西部地域の整備方針図



土地利用方針の凡例

- | | | |
|---|--|---|
|  広域交通ネットワーク |  居住誘導区域 |  農業保全地区 |
|  広域交通ネットワーク (高松自動車道) |  都市機能誘導区域 |  自然保全・観光地区 |
|  都市内連携交通ネットワーク |  集落地区 |  環境保全・観光地区 |
|  鉄道 |  工業専用地区 | |
|  公共施設・学校等 | | |

5.観音寺中南部地域

5-1 地域の概要

本地域は、北に平地、南に中山間地域を形成し、農業が盛んな地域として水稻、レタスやたまねぎ、丘陵地ではみかんなどの果樹が栽培されています。

本地域では、国道377号沿いには大野原支所を中心に行政機関などの生活利便施設が立地しています。また、大野原三大古墳(椀貸塚、角塚、平塚)、法泉寺をはじめとする歴史的遺産や、豊稔池や萩の丘公園などの自然環境が多く存在します。

本地域の人口は、平成12(2000)年の12,799人から平成27(2015)年の11,661人と15年間で8.9%減少し、長期的に減少傾向が続いています。

一方、世帯数は平成12年の3,497世帯から平成27年の3,851世帯に増加し、長期的に増加傾向が続いています。



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計(平成30年度)

5-2 現況と課題

(1) 土地利用

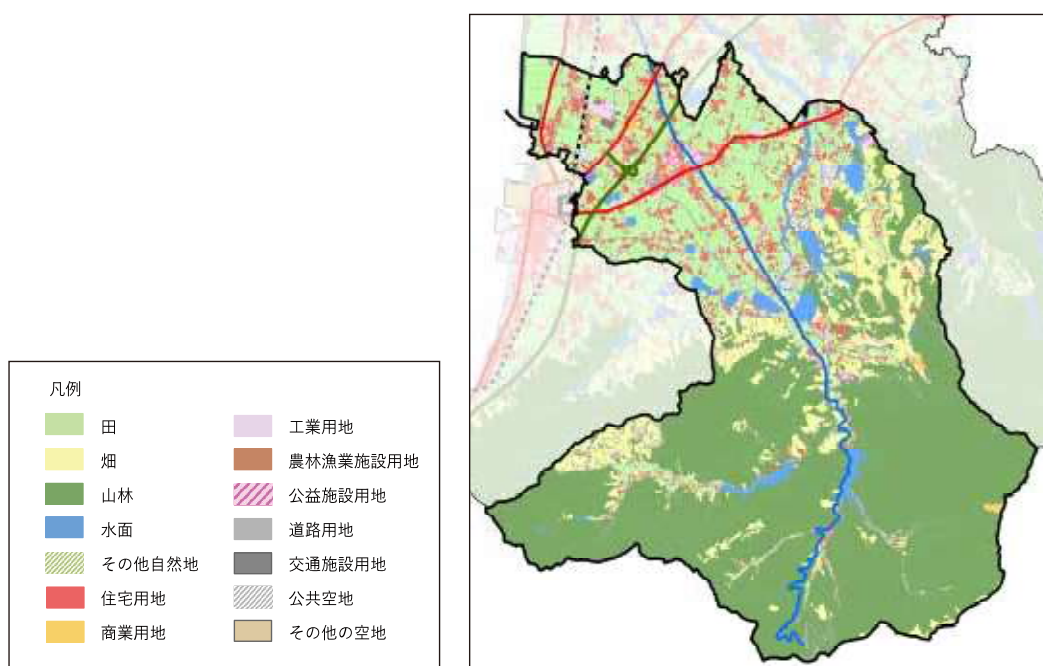
■ 現況

- ◇国道377号沿道に住宅地や商業地が立地し、既存集落を形成しています。
- ◇地域北部の平地には豊かな田園地帯と農村集落が形成され、地域南部は山林となっています。

■ 課題

- ◇生活拠点を中心とした都市機能や生活機能の開発・整備が求められます。
- ◇無秩序な開発を抑制して、豊かな自然と共生していくバランスの取れた土地利用を継続していくことが必要です。

中南部地域の土地利用現況



(2) 交通体系

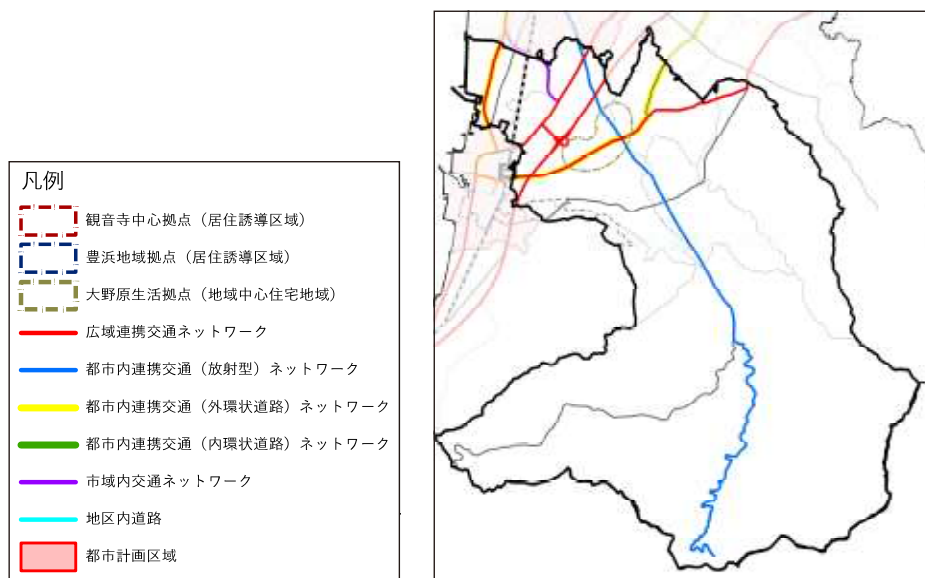
■ 現況

- ◇南北に、国道11号、主要地方道丸亀詫間豊浜線、主要地方道観音寺佐野線、JR予讃線が走り、東西に、国道377号、県道丸井萩原豊浜線が走っています。
- ◇のりあいバス路線は、内循環線・外循環線・粟井姫浜線・五郷高室線・箕浦観音寺線の5路線が運行していますが、1日に往復15便以上運行している利便性の高い区間は大野原支所と豊浜支所を結ぶ区間と花稻地域を通る一部の区間のみとなっています。
- ◇大野原インターチェンジなどの交通拠点を有しています。

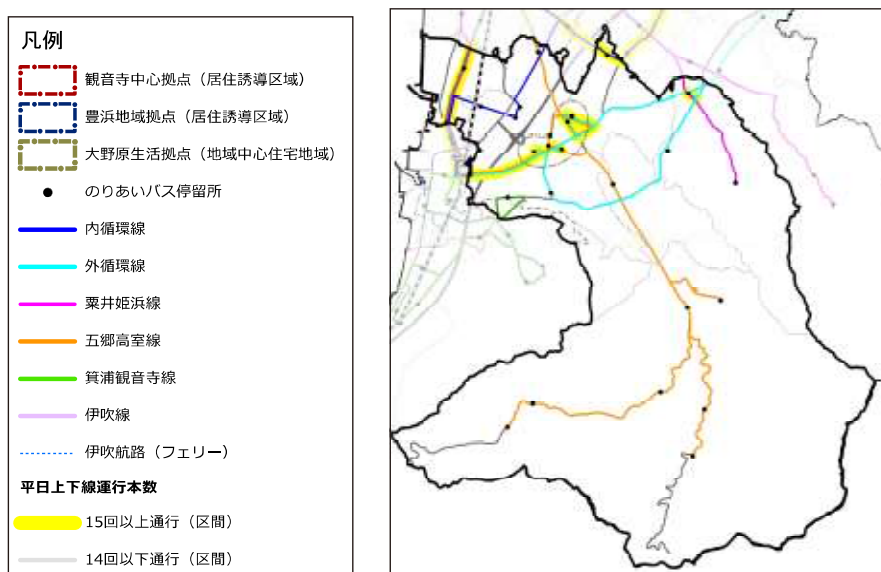
■課題

- ◇のりあいバスの利便性が低い区間では、利便性の向上を図り、利用を促進する必要があります。
- ◇生活拠点への周辺地域からのアクセス性の向上や、交通拠点における交通結節機能強化が必要です。

中南部地域の交通ネットワーク



中南部地域の公共交通網図



(3) 都市施設・都市機能

■ 現況

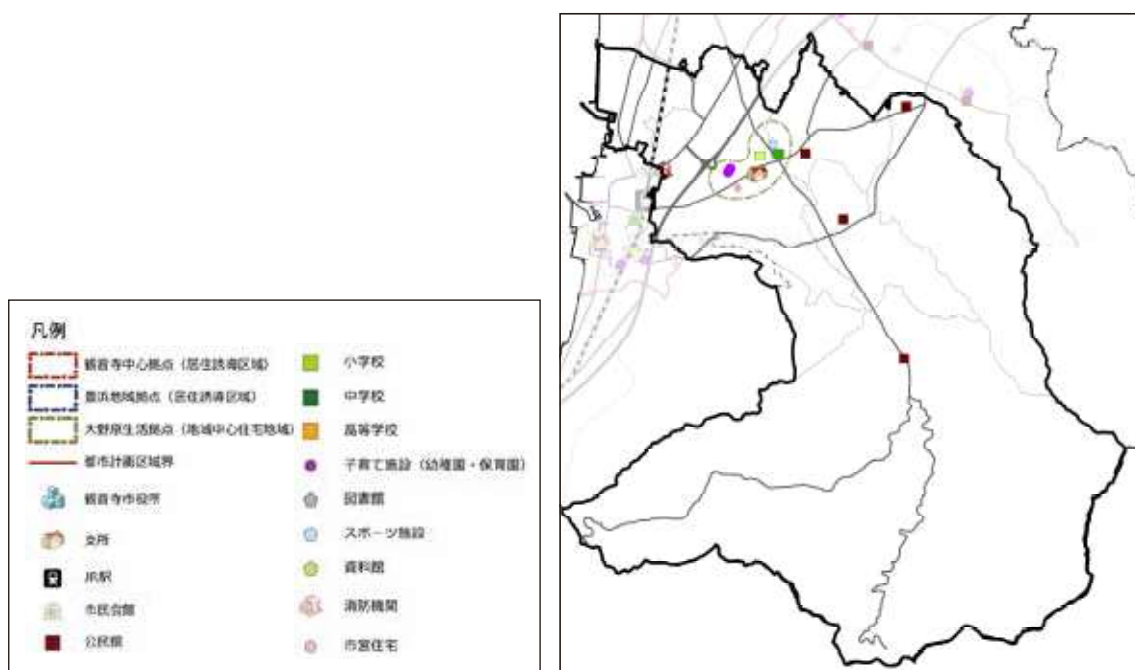
◇大野原支所周辺に、小中学校や幼稚園等の子育て施設、図書館等の公共施設が立地しています。

■ 課題

◇生活拠点を中心に地域の規模に見合った都市機能・生活機能の集積が求められます。

◇公共施設の適切な管理を行い、生活拠点としてのサービス機能を維持する必要があります。

中南部地域の都市機能



(4) 防災

■ 現況

◇地域の南部は山林が形成され、土砂災害警戒区域 / 特別警戒区域、土石流危険渓流等が広範囲に指定されています。

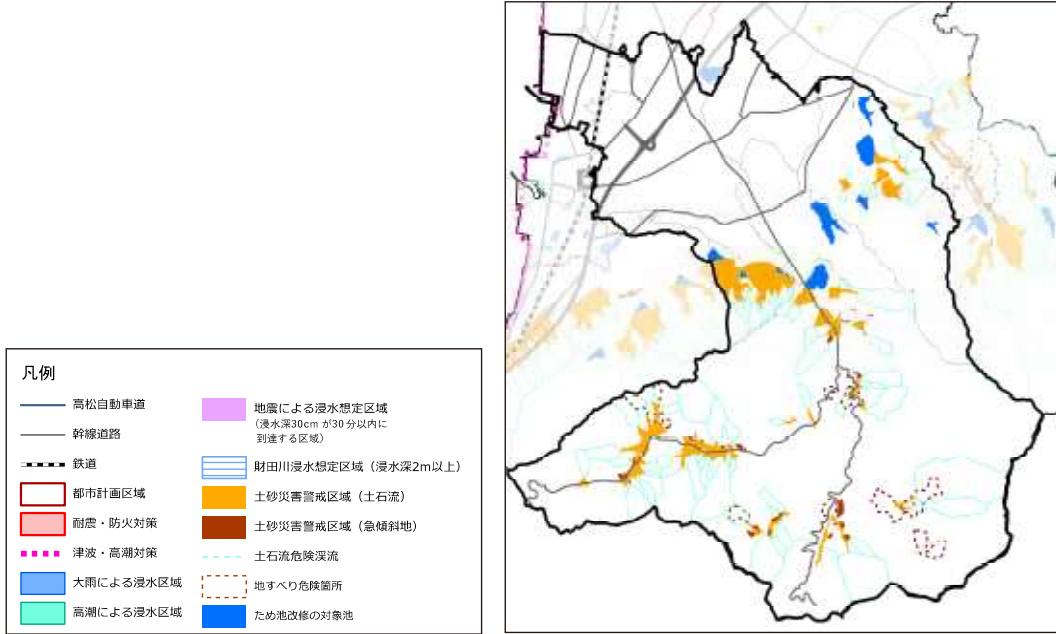
◇行政機能が集積する地域北部には、災害警戒区域の指定はありません。

■ 課題

◇土砂災害警戒区域 / 特別警戒区域、土石流危険渓流等においては、自然災害の発生を防止する対策が必要です。

◇地域北部は、災害警戒区域の指定はありませんが、台風や南海トラフ地震に備えた避難体制の確立などソフト対策が必要です。

中南部地域のハザード区域

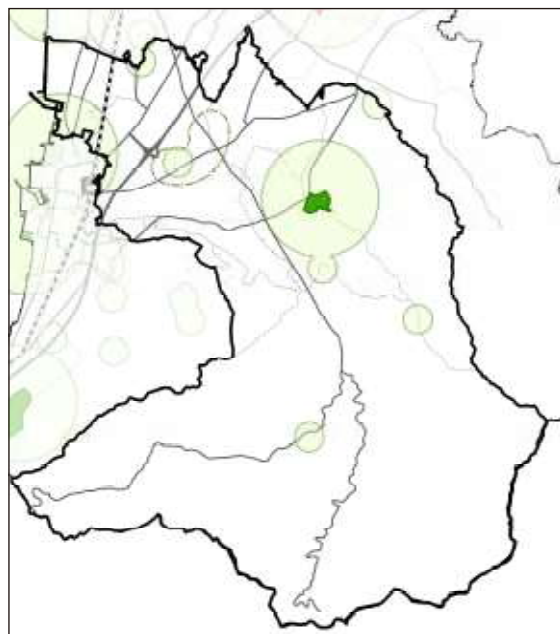


(5) 公園緑地

■ 現況

- ◇ 中南部地域は公園緑地が6箇所あります。
- ◇ 萩の丘公園は、スポーツを楽しめる多目的広場のほか、キャンプ場・ロッジを備えたレジャー施設として活用されています。

中南部地域の公園緑地



■ 課題

- ◇ 萩の丘公園は、周辺の大谷池とともに、ニーズに応じた施設利用の検討や親水空間としての維持管理が必要です。

(6) 都市景観

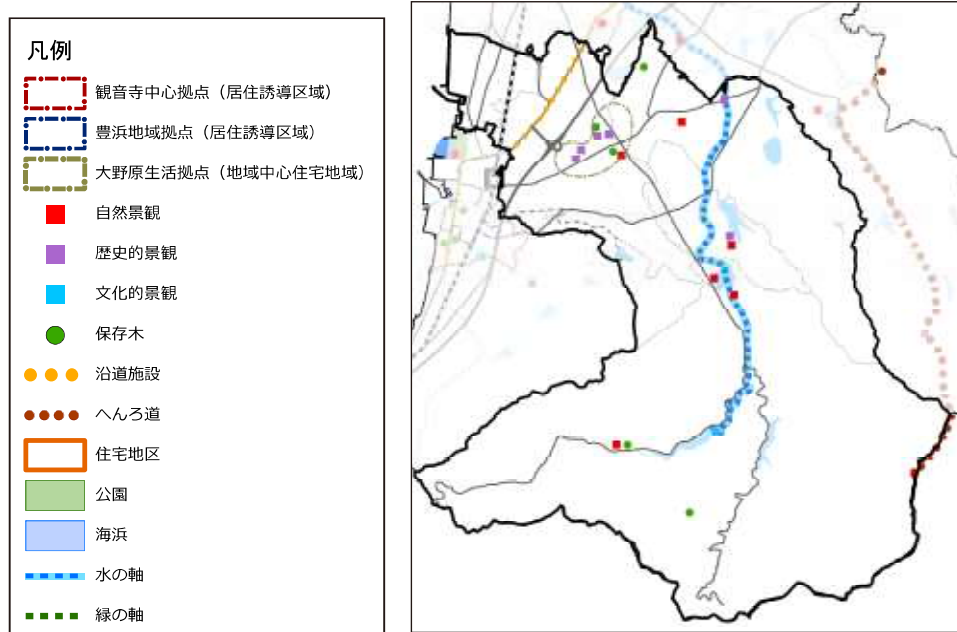
■ 現況

- ◇ 地域南部の山間部は豊かな自然環境を有し、雲辺寺山や国指定重要文化財であり、文化的景観としての豊稔池などの景観資源が数多く存在しています。
- ◇ 本地域は、歴史的にも重要な文化財である大野原三大古墳の椀貸塚古墳、角塚古墳、平塚古墳が存在します。

■ 課題

- ◇ 自然環境や景観資源の保存・保全やネットワーク化された活用が必要です。
- ◇ 大野原三大古墳の椀貸塚古墳、角塚古墳、平塚古墳は歴史的にも重要な文化財として、情報発信を強化するとともに、今後も調査・活用・保存に取り組む必要があります。

中南部地域の都市景観



(7) 中南部地域の主要な課題

- ・生活拠点における人口密度の維持と生活利便施設の集積
- ・優良農地の保全、遊休農地の発生抑制
- ・土砂災害への対応、山林の保全
- ・景観資源の保全と利活用



5-3 中南部地域のまちづくり構想

(1) 目指すべき将来像

美しい田園や豊かな自然環境に囲まれ、
レクリエーションや地域コミュニティを育む
～交流とやすらぎのある暮らしやすいまちづくり～

将来像を実現するための重点目標として、下記の目標を定めます。

① やすらぎのある生活拠点づくり

本地域は、山間部に約2,700haもの広大な森林と平野部に約1,400haもの農地を有している自然豊かなゆとりある景観を形成しています。適切な土地利用の誘導による生活環境の形成や交流人口の拡大による山村地域の活性化によって、やすらぎのある生活拠点の形成を検討していきます。

② 自然・農業を活かした交流の創出

中南部地域は、香川県のなかでも農業が盛んであり、水稻、レタスやたまねぎ栽培などが全国的にも有名です。さらに、ほ場整備された優良農地も多く、すばらしい田園環境や山間部の自然環境に恵まれています。今後は、これらの自然・農業環境を活用した交流空間を創出し、生活拠点としての整備・保全を検討していきます。

③ 田園風景の保全

中南部地域は、すばらしい田園環境を有し、農業産出額の高い地域となっています。

しかし、高齢化の進行や若年層の流出などから後継者不足が問題となっています。今後は、田園環境を保全するため、適正な土地利用を誘導していくとともに、遊休農地の有効活用や若者が定住できる居住空間の創出について検討していきます。



田園景観



レタス栽培



豊稔池

(2)分野別方針と主要な施策

①土地利用

- 大野原支所周辺の生活拠点では、一定の生活利便施設の維持、確保に努め、周辺集落や中山間集落を含む生活圏の持続的な生活確保を支援していく拠点づくりを進めます。
- 生活圏における一定の日常的な商業機能の立地を促進し、周辺の自然的土地利用に配慮しながら、生活の利便性の向上を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
大野原生活拠点の整備	→		
生活利便性の向上	→		




②交通体系

- 住民の日常の買い物や通院等の生活行動において、他拠点との連携が重要となるため、のりあいバスとJR等の他の公共交通との乗継の利便性の向上を図ります。
- 高松自動車道へ接続する大野原インターチェンジなどの交通結節点へのアクセス機能の向上を図ります。
- 地域の中心地を東西に走る国道377号は、地域拠点と生活拠点を結ぶ重要な路線です。また、主要地方道観音寺佐野線は、地域拠点と生活拠点を結ぶ主要路線となります。今後は、拠点間の連携を充実させるために、道路改良や自歩道が整備されていない箇所については、自歩道の整備、街路灯の整備整備などを促進します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
公共交通及びその他の交通手段の維持	→		
交通結節点へのアクセス機能の向上	→		
自転車歩行者道の整備	→		


③都市防災

- 水田・農林地が持つ雨水を一時的に貯留する水源涵養機能、洪水や土砂崩れを防ぐ防止機能を保全していくとともに、後世に美しい田園風景を継承するために保全に努めます。
- ため池の決壊による災害を防止するため、ため池の改修を推進します。
- 各種ハザードマップの作成・配布、自主防災組織の育成支援や地域における情報伝達体制の整備など地域防災力の強化を図ります。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
美しい田園風景の保全			
ため池改修の推進			
各種ハザードマップの作成など地域防災力の強化			



④住環境の整備

- 中南部地域の自然・風土を活かしたまちづくりを進めていきます。
- 五郷地区の歴史・文化の継承を推進するとともに、農産物などの地域資源を活かした地場産業*の振興や地元住民による活動団体との連携による地域コミュニティの活性化を推進し、魅力ある山村地域づくりに向けた取組を支援します。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
地域コミュニティの活性化			

⑤公共施設

- 公共施設等総合管理計画・個別施設計画に基づき、拠点内での公共施設の立地を重視しつつ、施設の統廃合・再配置を進めるとともに施設の適切な維持管理に努めます。
- ふるさと学芸館の積極的な活用を図り、地域の歴史を学び市民が郷土に誇りと愛着を持てるような活動・環境づくりを推進します。
- 萩の丘公園のログハウスやスポーツ施設等の官民のレクリエーション施設を連携、有効活用し、若者に魅力ある余暇を過ごせる地域として情報発信していくとともに、歴史的観光資源との連携やニーズに応じた施設利用について検討していきます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね5年)	中期 (おおむね10年)	長期 (おおむね20年)
ふるさと学芸館の積極的な活用			
ニーズに応じた施設利用の検討			

⑥産業

- 中南部地域の産業の中心となる流通業務団地等の拠点整備を行うとともに、団地への企業誘致を推進します。

- 中南部地域は優良な農業地帯ですが、高齢者や後継者不足が問題となっており、遊休農地等も増加しています。優良な田園環境を維持するために、遊休農地等の調査結果をもとに、農業・食教育など学校教育等における利用等及び農地中間管理機構への斡旋等を推進していきます。
- 農業への理解を深めてもらい農業への新規参入者を増加させるために、農業体験や農業に関する教育の機会を創出していきます。さらに、個人・家族単位での営農から組織的な営農への転換や生きがい型農業者の参入等のさまざまな情報発信を行います。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
流通業務団地の拠点整備、企業誘致の推進	→		
遊休農地の解消	→		

⑦地域資源

- 大野原古墳群は、歴史的に重要な文化財であるため、今後も古墳の調査・保存活動に取り組んでいきます。
- 井関池、大谷池、豊稔池など地域に点在するため池周辺では、植栽の維持管理などにより生活に潤いをもたらす良好な親水空間の保全に努めます。
- 近年、自然豊かな農村部で、自然や文化を楽しみ、地元の人たちと交流する余暇活動のグリーンツーリズムが注目されています。自然、文化を活かし市民と交流するグリーンツーリズムを促進し、交流人口の拡大による山村地域の活性化を図ります。

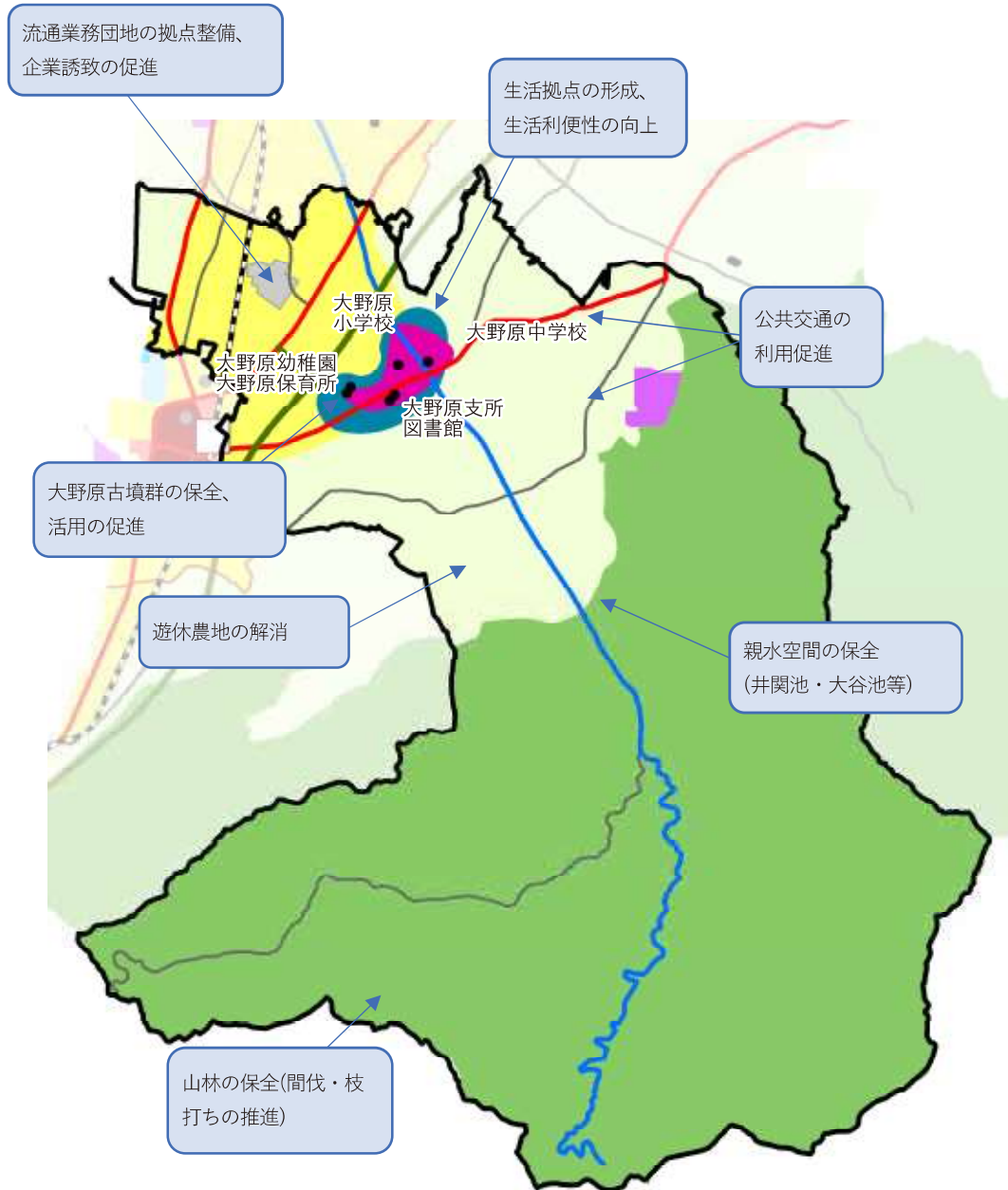
主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
大野原古墳群の保全	→		
親水空間の保全	→		
グリーンツーリズムを促進した山村地域の活性化	→		

⑧その他













- 山林には、水源涵養機能や土砂災害防止機能など、さまざまな機能があります。これらの機能を保全していくために、適正な間伐や枝打ちなどを推進していきます。

主要施策	スケジュール		
	短期 (おおむね 5 年)	中期 (おおむね 10 年)	長期 (おおむね 20 年)
山林の保全	→		

中南部地域の整備方針図



土地利用方針の凡例

- | | | |
|--|--|---|
|  広域交通ネットワーク |  生活商業地区 |  農業保全地区 |
|  広域交通ネットワーク
(高松自動車道) |  地域中心住宅区域 |  自然保全・観光地区 |
|  都市内連携交通ネットワーク |  集落地区 | |
|  鉄道 |  工業専用地区 | |
|  公共施設・学校等 |  流通業務地区 | |